

令和3年度

湖西市教育委員会

自己点検・評価報告書

令和4年12月

湖西市教育委員会

目 次

はじめに	1
I 令和3年度 湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開	2
教育委員会組織	3
各課の仕事の概要	4
決算の概要	5
II 令和3年度 湖西市教育委員会の活動等における 点検・評価の概要	6
1 教育委員会の活動	6
2 教育委員会の審議案件	6
3 事業の概要	7
4 事務事業評価の概要	8
III 外部評価委員の意見	42
IV 総合評価	50

はじめに

本市教育委員会においては、今後の教育行政を総合的かつ計画的に推進するため、市の最上位計画である第6次湖西市総合計画「ひと・自然・業（わざ）」がつながり未来へ続く「わがまちKOSAI」における教育部門の計画として「第2次湖西市教育振興基本計画（2021年～2025年）」を策定した。

この計画は、『未来の湖西を創る“ひと”づくり』を基本理念とし、その理念に基づき「幼児・学校教育」・「生涯学習」・「生涯スポーツ」の3つの分野において基本目標を掲げ方針を明記し、諸事業の具現化を図り、学校教育及び生涯学習の充実をはじめ、教育環境の整備を推進する指標である。

令和3年度においては、本計画に基づき、教育委員会各課において諸事業に取り組み、その取組状況については、実績等の概要を取りまとめ、「事務事業評価」、「主要施策成果の説明書」として報告している。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないと定められている。

そのため、本市教育委員会の令和3年度の活動及び施策に関する自己点検及び評価を実施し、報告書としてまとめる。

《参考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検並びに評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和3年度 湖西市教育委員会 基本姿勢と事業の展開

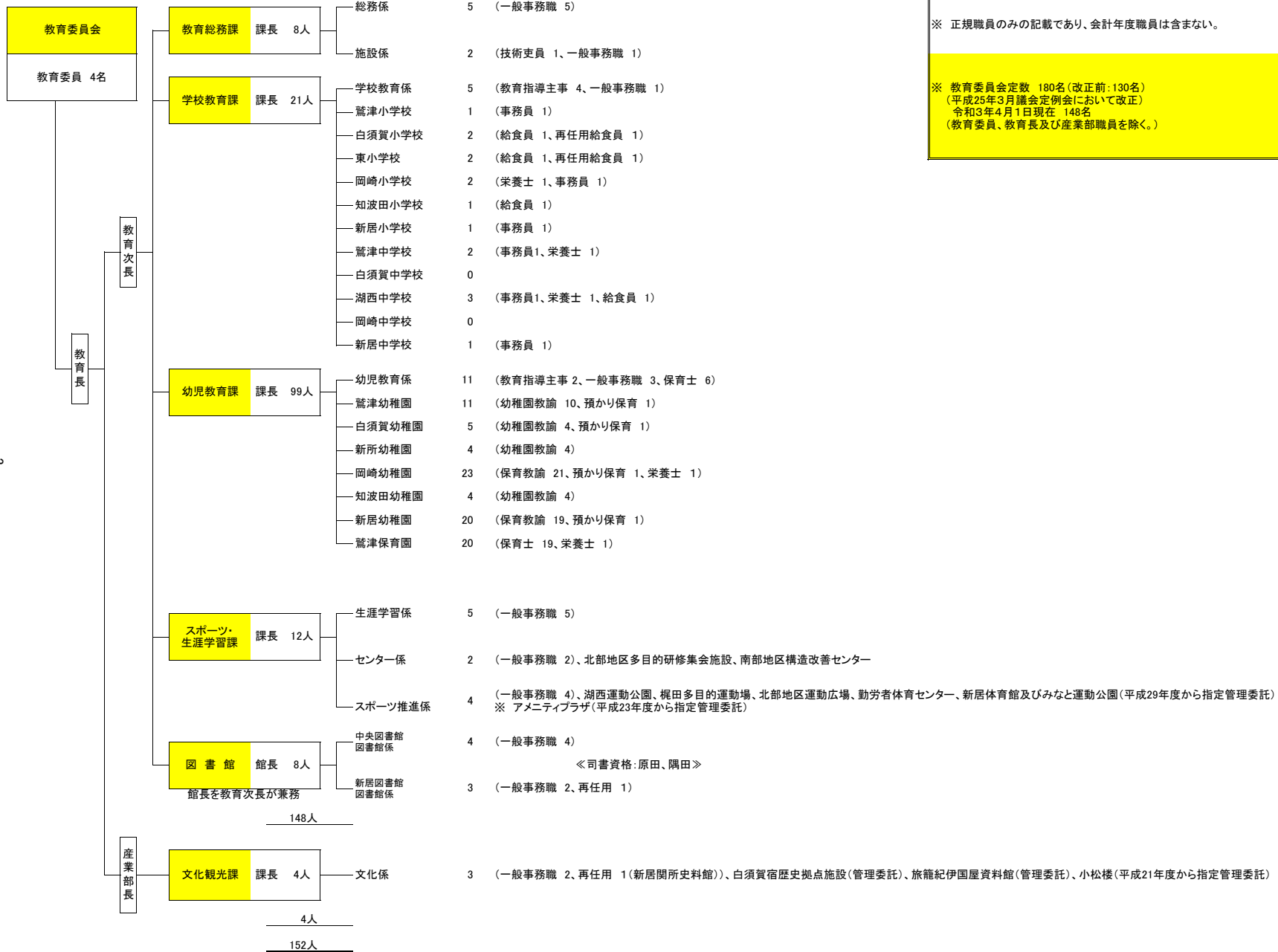
【 基本理念 】
<p>「未来の湖西を創る”ひと”づくり」 やさしい”ひと” 他人に対する思いやりや素直な気持ちを持ち、大切なものを愛する心をもったひと たくましい”ひと” 勇気や忍耐力があり、自己抑制力を持ち、不撓不屈のチャレンジ精神で、逆境を乗り越える力をもったひと こそざしある”ひと” 夢や情熱を持ち、その実現のために前向きに生きていくひとのことであり、使命感、信念、正義感によって、自己を見失わず、己の道を進んでいくひと</p>

【 目 標 】
<p>基本目標1「幼児・学校教育」 自ら学ぶ力、生きる力をはぐくむ幼児・学校教育を推進します</p> <p>基本目標2「生涯学習」 生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります</p> <p>基本目標3「生涯スポーツ」 誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。</p>

	基本目標	方 針
基本目標 1 「幼児・学校教育」	自ら学ぶ力、生きる力をはぐくむ幼児・学校教育を推進します	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します
		2 質の高い学習環境を整備します
		3 時代に対応した教育行政を推進します
		4 基本的生活習慣の定着を通して自立する心を育みます
		5 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます
		6 一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます
		7 保育環境の充実に努めます
		8 魅力ある園・学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます
		9 学習基盤の充実に努めます
		10 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます
		11 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めます
		12 社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します
		13 地域とともに歩む学校づくりを推進します
基本目標2 「生涯学習」	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくりま	14 家庭教育を支援します
		15 地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります
		16 青少年健全育成意識を醸成します
		17 ささまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します
		18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます
		19 安全で安心な施設を管理・運営します《生涯学習・文化施設・図書館》
		20 文化財を保存活用します
		21 文化芸術を推進します
		22 情報拠点としての運営に努めます
		23 読書活動を推進します
基本目標3 「生涯スポーツ」	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	24 スポーツ活動を普及・推進します
		25 スポーツ環境を整備します

教育委員会組織（令和3年度）

（令和3年4月1日現在）



※ 正規職員のみ記載であり、会計年度職員は含まない。

※ 教育委員会定数 180名(改正前:130名)
(平成25年3月議会定例会において改正)
令和3年4月1日現在 148名
(教育委員、教育長及び産業部職員を除く。)

令和3年度 各課の仕事の概要

部	課名	係名	仕事の概要
教育委員会事務局	教育総務課	総務係	公印の管守。教育委員会の招集、提出議案調整、議決事件処理。規則、規程などの公布。職員の人事、服務、給与、福利厚生。教材、教具の整備。学校給食。豊田佐吉翁記念奨学金事業。育英奨学資金貸付事業。学校等の施設の保守管理。総合教育会議。
		施設係	学校等の財産の取得、処分。学校等の施設の整備、修繕、建設。施設整備に係る調査。学校等の施設の保守管理。
	学校教育課	学校教育係	通学区。学籍。学級編制。教科書無償給与。学校経営の指導。教職員の服務・研修。教育課程。学校給食（指導）。学校保健及び安全。就学支援。特別支援教育。教育相談。生徒指導。転入学。
	幼児教育課	幼児教育係	子ども・子育て支援制度に関すること。幼稚園・保育園・こども園に関する事務（入・退園を含む）。園経営の指導。教職員の服務・研修。保育・教育課程。
	スポーツ・生涯学習課	生涯学習係	社会教育の企画。幼児・青少年・家庭・成人・高齢者教育の振興。地域社会教育の振興。青少年リーダーの育成。成人式。生涯学習の推進。青少年育成センターの運営。
		公民館係	西部地域センター、北部・南部構造改善施設の維持管理。講座の開催。センターまつりの開催。図書室業務。
		スポーツ推進係	社会体育の企画推進。社会体育施設・学校体育施設開放の維持管理、運営。アメニティプラザ・湖西運動公園ほか5施設の監督管理。
	図書館	中央図書館 図書館係	図書館の維持管理。図書館業務。読書活動の推進。
		新居図書館 図書館係	図書館の維持管理。図書館業務。読書活動の推進。
	産業部	文化観光課	文化係

皆さんが納めた税金の使い道 令和3年度決算

皆さんが納めた税金がどのように使われたのか、令和3年度の決算の状況をお知らせします。あわせて湖西市の現状と将来の見通しから今後の取り組みまでお伝えします。

令和3年度決算概要

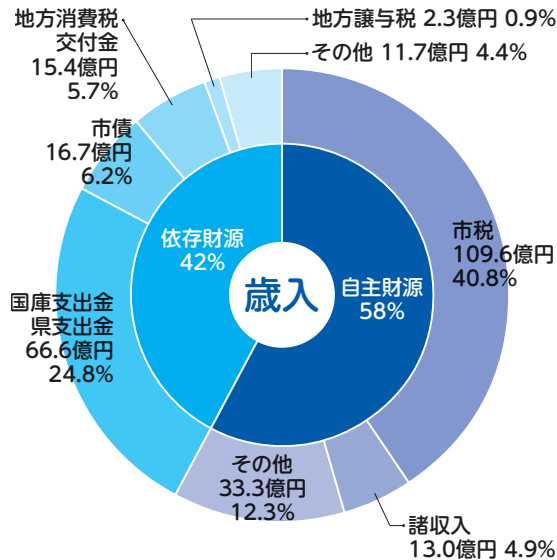
一般会計

「職住近接」実現のため、①安全・安心、医療福祉 ②子育て・教育の充実 ③産業の振興～モノづくりは人づくり～ ④観光・シティプロモーションの4本の柱の下、環境センター再稼働事業、浜名湖西岸土地区画整理事業、大倉戸茶屋松線整備事業などの大型事業や、市民の利便性を向上させるため、DX(※1)事業を積極的に推進しました。また、新型コロナウイルスワクチン接種事業のほか、感染拡大防止に取り組む事業者への支援や経済対策を実施しました。

※1 DX(デジタルトランスフォーメーション) …進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること

【DX事業の一例】キャッシュレス決済の導入：公共料金・税金の支払いなどがスマホで決済可能に
水道検針メーターの自動化：水道スマートメーターで使用量の自動検針を行う
LINEの活用：市公式LINEに、登録者ごとに受け取る情報を選択できる機能を追加

■歳入決算額 268.6億円(前年度比10.1%減)



歳入の使い道(一部)

■市税のうち都市計画税4.0億円

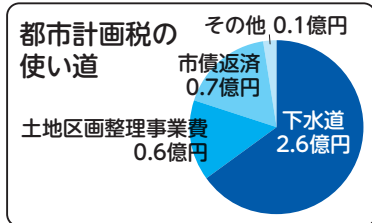
都市計画区域内の事業に使われています。

■地方消費税交付金のうち社会保障財源分8.0億円

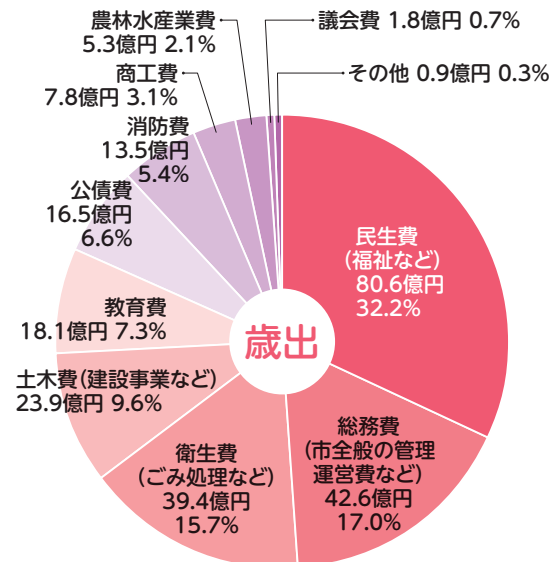
消費税率の引き上げに伴い子育てなど少子化対策や医療・介護事業など社会保障費に使われています。

■諸収入のうち競艇事業収入9.1億円

教育施設の修繕や改修工事、土地区画整理事業、道路事業、地震・津波対策などに使われています。



■歳出決算額 250.4億円(前年度比9.6%減)



■各会計決算総括表(単位：億円)

会計	区分	歳入		歳出	差し引き(A-B)
		金額(A)	うち一般会計からの繰入金	金額(B)	
一般会計		268.6		250.4	18.2
特別会計	国民健康保険事業	57.3	3.2	54.1	3.2
	介護保険事業	42.4	5.9	40.0	2.4
	後期高齢者医療事業	7.3	1.3	7.1	0.2
企業会計	公共下水道事業	収益的収支	13.8	13.2	0.6
		資本的収支	8.1	12.8	▲4.7
	水道事業	収益的収支	12.8	10.7	2.1
		資本的収支	0.1	6.2	▲6.1
	病院事業	収益的収支	33.1	30.7	2.4
		資本的収支	1.9	2.6	▲0.7
合計		445.4	26.7	427.8	17.6

Ⅱ 令和3年度 湖西市教育委員会の活動等における点検・評価の概要

1 教育委員会の活動

本市教育委員会を年11回開催し、規則等の制定及び改廃、予算その他の議会の議決に付すべき事件案に関する意見聴取、付属機関の委員の委任又は任命に関する事等について慎重に審議した。

教育委員研修については、定例会開催ごとに委員協議会を開催し、情報の提供と意見交換に努めるとともに、教育委員会を学校等の教育施設を会場に開催し、合わせて市内教育現場の視察を実施するなど、本市教育行政の実情把握と認識を深めた。

総合教育会議は、平成27年4月1日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律第1条の4の規定により、市長と教育委員会が協議・調整する場として総合教育会議を設けると定められた。本年度の総合教育会議では、「子育てにやさしいまちづくりの推進」と「モノづくり人材育成」について市長と意見交換した。

2 教育委員会の審議案件

教育委員会が管理・執行する事務は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第21条に規定されている次に示す19項目の事務である。

- (1) 教育委員会の所管に属する第30条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関する事。
- (2) 学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関する事。
- (3) 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事。
- (4) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関する事。
- (5) 学校の組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関する事。
- (6) 教科書その他の教材の取扱いに関する事。
- (7) 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関する事。
- (8) 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関する事。
- (9) 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関する事。

- (10) 学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- (11) 学校給食に関すること。
- (12) 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- (13) スポーツに関すること。
- (14) 文化財の保護に関すること。
- (15) ユネスコ活動に関すること。
- (16) 教育に関する法人に関すること。
- (17) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- (18) 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- (19) 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

上記に基づき、規則等の制定及び改廃に関すること16件、予算その他議会の議決に関すること7件、職員（教職員）の人事に関すること2件、付属機関等の委員を任命または委嘱すること17件、その他自己点検・評価報告書の作成及び議会提出に関することなど3件、合わせて45件の議案について慎重に審議し、すべての案件について決定及び承認した。

3 事業の概要

令和3年度は、湖西市教育振興基本計画に掲げる教育委員会の基本理念である『未来の湖西を創る“ひと”づくり』において定めた基本目標と方針により、事業展開を行った。

各頃ごとの主な事業は次のとおりである。

資料編P.1からP.5 児童福祉費については、放課後児童クラブの運営、公立保育園等の管理、運営や民間保育所への運営費の支出及び事業等への助成を行った。

P.6からP.14 教育総務費については、教育委員会の運営、会計年度任用職員の雇用、教育指導関係事業等を行った。

P.15からP.23 小学校費・中学校費・幼稚園費については、教育環境の整備として、東小学校トイレ改修工事や新居小学校体育館外壁・屋根改修事業など、各施設の維持・管理、修繕を行った。

P.23からP.32 社会教育費については、社会教育諸事業の推進に際し、関係諸団体はじめ、多くの市民の協力や参加をいただき、社会教育の推進及び青少年健全育成活動の促進、文化財の保護・保存・整備や公民館活動の充実等に努めた。

P.33からP.35 図書館費については、図書館活動にかかる各種の事業

や施設の修繕を実施し、図書館機能の充実を図った。

P.35からP41 保健体育費については、体育施設の維持管理及びスポーツ教室の開催等により、市民スポーツ団体の育成や市民スポーツ活動の推進に努めた。

4 事務事業評価の概要

教育委員会の各課、館の主要事業について、事業ごとに評価の概要をまとめた。

湖西市教育振興基本計画の目標・方針

基本目標	番号	方針
基本目標 1 「幼児 学校 教育」	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します
	2	質の高い学習環境を整備します
	3	時代に対応した教育行政を推進します
	4	基本的な生活習慣の定着を通して自立する心を育みます
	5	夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます
	6	一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます
	7	保育環境の充実に努めます
	8	魅力ある園・学校づくりの基盤として教職員の資質向上に取り組みます
	9	学習基盤の充実に努めます
	10	夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます
	11	一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めます
	12	社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します
	13	地域とともに歩む学校づくりを推進します
基本目標 2 「生涯 学習」	14	家庭教育を支援します
	15	地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります
	16	青少年健全育成意識を醸成します
	17	さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します
	18	市民が集い結びあうセンター活動に努めます
	19	安全で安心な施設を管理・運営します《生涯学習・文化施設・図書館》
	20	文化財を保存活用します
	21	文化芸術を推進します
	22	情報拠点としての運営に努めます
	23	読書活動を推進します
基本目標 3 「生涯 スポーツ」	24	スポーツ活動を普及・推進します
	25	スポーツ環境を整備します

自己点検・評価の考え方

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、湖西市では本シートを用いて令和3年度の活動及び施策の自己点検及び評価を行う。	マトリックスの見方		↑ 実現度	A			★
	実現度	重要度		B			☆
	A…目標達成	A…非常に重要		C			
	B…概ね目標達成	B…重要	★3年度	C	B	A	
	C…目標達成できない	C…やや低い	★2年度	重要度→			

各事業の目標・方針は教育振興基本計画に基づく

[教育総務課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和3年度評価		備考
		重要度	実現度	
10	放課後児童健全育成事業	A	B	
10	公立保育所・こども園施設管理運営費	A	A	
11	教育委員会関係経費	A	A	
11	事務局関係経費	A	A	
11	豊田佐吉翁記念奨学金事業費	A	B	
12	育英奨学資金貸付事業費	B	B	
12	学校給食推進事業費	A	A	
12	教育施設整備費	A	A	
13	教育施設管理費	A	A	
13	各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費	A	A	
13	各小学校教育振興費	A	B	
14	教育扶助費（小学校）	A	A	
14	一般諸経費（小学校部活動費交付金）	-	-	
14	小学校施設整備費	A	B	
15	各中学校管理運営費及び中学校施設管理運営費	A	A	
15	各中学校教育振興費	A	B	
15	教育扶助費（中学校）	A	A	
16	一般諸経費（中学校部活動費交付金）	B	A	
16	中学校施設整備費	A	B	
16	幼稚園施設管理運営費	A	A	
17	幼稚園施設整備費	-	-	

事業名	放課後児童健全育成事業			資料編	1頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	5 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます		
概要	子育て支援事業として、昼間保護者等がいない小学校の低学年児童に対して、小学校の空き教室等を利用し、放課後に遊びや生活の場を与え、保育を委託により実施。				
令和3年度目標	クラブ定員数を518とする。				
令和3年度実績等	◇令和3年度の定員数 516人 ◇8クラブ12単位による運営。				
令和2年度実績等	子育て支援課からの移管。				
課題及び今後の取り組み	地域によって児童登録数が定員に達しないクラブがあり、目標未達となったが、令和2年度の実績506人から定員数は増加した。児童数は減っていくが、放課後児童クラブについては需要も高まると思われる。支援員・補助員不足及び受入体制の改善を図る。	評価	↑ 実現度	A	☆
				B	
				C	A
				重要度→ ☆R3 ★R2	
事業名	公立保育所・こども園施設管理運営費			資料編	5頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	保育園・こども園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設管理を行う。				
3年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%				
3年度実績等	◇3園の廃棄物処理を行い、清掃業務、廃棄物の収集運搬及び保守点検等を委託した。 ◇点検実施率100%				
2年度実績等	◇4園の廃棄物処理を行い、清掃業務委託等・廃棄物の収集運搬を委託した。				
課題及び今後の取り組み	令和2年度で新居保育園及び内山保育園が閉園している。 令和2年度からこども園化に伴い新居幼稚園を幼稚園施設管理運営費から公立保育所・こども園施設管理運営費に移管している。 令和3年度からこども園化に伴い岡崎幼稚園を幼稚園施設管理運営費から公立保育所・こども園施設管理運営費に移管している。 令和2年度から、保育園・幼稚園・小学校・中学校の大規模施設修繕については教育施設管理費に事業を移管し、一括で管理している。	評価	↑ 実現度	A	☆
				B	★
				C	A
				重要度→ ☆R3 ★R2	

事業名		教育委員会関係経費		資料編	6頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	学校及び、その他の教育機関の職員の身分取扱、その他地方公共団体における教育行政の組織及び運営を定める会議を定例・臨時に開催する。				
3年度目標	教育委員会の開催回数12回				
3年度実績等	◇教育委員会の開催 定例会11回、臨時会0回 ◇教育委員研修会等への出席 市町教育委員会連絡総会協議会は書面開催、三遠南信教育サミット（愛知県田原市）は中止 ◇総合教育会議の開催 1回				
2年度実績等	◇教育委員会の開催 定例会12回、臨時会1回 ◇教育委員研修会等への出席 市町教育委員会連絡総会協議会は書面開催、三遠南信教育サミット（愛知県田原市）は令和3年度開催へ変更 ◇総合教育会議の開催 1回				
課題及び今後の取り組み	教育委員会の会議録や活動内容の積極的な情報公開を図り開かれた委員会を目指す。 総合教育会議は、市長と教育の課題などについて情報を共有し、継続的に意見交換を行って教育施策に反映させる。	評価	↑ 実現度	A	☆☆
				B	
				C	A
				重要度→ ☆☆R3 ★R2	
事業名		事務局関係経費		資料編	7頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	教育行政の推進を図るため、教育長等の各種研修会や協議会への出席。市内各小学校・中学校の会計年度任用職員を雇用し、教育行政の円滑な運営を図る。				
3年度目標	会計年度任用職員の雇用人数33人				
3年度実績等	◇会計年度任用職員の雇用を33人、延べ37人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。				
2年度実績等	◇非常勤職員等の雇用を33人、延べ40人行った。 ◇各種負担金の支出により、他組織等との連携・協議を図った。				
課題及び今後の取り組み	緊急を要する会計年度任用職員の雇用確保が難しく、今後も令和8年9月に運用開始が予定されている学校給食センターも視野に、給食調理業務の委託化の拡充を検討する。	評価	↑ 実現度	A	☆☆
				B	
				C	A
				重要度→ ☆☆R3 ★R2	
事業名		豊田佐吉翁記念奨学金事業費		資料編	8頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、豊田佐吉翁記念奨学金の運用益等により、奨学援助を行い社会に有用な人材を育成する。				
3年度目標	奨学金の給付人数14人				
3年度実績等	◇大学生11人、高校生2人に奨学金1,704千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月14日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える会の実施（湖西市妙立寺） 8月18日 7名参加				
2年度実績等	◇大学生14人、高校生2人に奨学金2,136千円を交付（大学生12,000円/月、高校生5,000円/月） ◇選考委員会の開催 2月12日 ◇豊田家に謝恩の意を伝える会の実施（湖西市妙立寺） 8月19日 10名参加				
課題及び今後の取り組み	利率の低迷により運用益だけでの運営ができない状況である。 今後の奨学金の運用について検討する。	評価	↑ 実現度	A	★
				B	☆
				C	A
				重要度→ ☆☆R3 ★R2	

事業名		育英奨学資金貸付事業費		資料編	8頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	優良な生徒であって、経済的理由により修学が困難な者に対し、無利子で奨学資金の貸付けを行い、社会に有用な人材を育成する。				
3年度目標	新規貸付人数3人				
3年度実績等	◇新規貸付者 2人。継続高校生 1人、継続大学生 1人に貸付けを行った。 (大学生50,000円/月、高校生15,000円/月)				
2年度実績等	◇新規貸付者 なし。継続高校生 1人、継続大学生 3人に貸付けを行った。 (大学生50,000円/月、高校生15,000円/月)				
課題及び今後の取り組み	新規の応募者が減少している現状を踏まえ、制度の見直しや市民への周知について検討が必要である。令和2年度から選考基準を、部活動や学校活動等で実績がある者についても選考対象とするように変更した。 新規応募者の状況 H29 3人、H30 3人、R元 1人、R2 2人、R3 1人	評価	↑ 実現度	A B C	☆ ★ A
重要度→				☆R3	★R2
事業名		学校給食推進事業費		資料編	13頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	各小学校・中学校における給食業務の衛生管理を徹底し、安定した給食を提供する。				
3年度目標	保菌・食品検査の実施率100%				
3年度実績等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・岡崎小学校・新居小学校・鷺津中学校・岡崎中学校・新居中学校の給食業務委託				
2年度実績等	◇保菌・食品検査の実施率100% ◇鷺津小学校・岡崎小学校・新居小学校・鷺津中学校・岡崎中学校・新居中学校の給食業務委託				
課題及び今後の取り組み	緊急を要する会計年度任用職員（給食員）の雇用確保が難しいため、各小学校・中学校の給食調理業務の委託化の拡充を検討する。	評価	↑ 実現度	A B C	★ ☆ A
重要度→				☆R3	★R2
事業名		教育施設整備費		資料編	14頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	小中学校等の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。学校給食施設を、学校給食施設整備基本計画に基づき、令和8年度までに整備する				
3年度目標	学校給食施設整備基本計画の策定				
3年度実績等	◇湖西市学校給食施設整備基本計画作成業務 9,862千円（令和2年度繰越含む） 令和2年度より業務を開始し、令和3年12月までの工期であったが、予定通り100%完了した。				
2年度実績等	◇湖西市立小中学校校内通信ネットワーク整備事業 87,376千円 10月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
課題及び今後の取り組み	各学校にある給食施設は現在求められている衛生基準を満たしておらず、且つ施設や備品の老朽化が進行しているため、給食センター等学校給食施設の整備について計画を策定する。	評価	↑ 実現度	A B C	★ ★ A
重要度→				☆R3	★R2

事業名	教育施設管理費			資料編	14頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	保育園1園、こども園2園、幼稚園4園、小学校6校、中学校5校の施設維持				
3年度目標	教育施設内での修繕件数80件				
3年度実績等	◇7園11校で98件の修繕を行った。				
2年度実績等	◇8園11校で81件の修繕を行った。				
課題及び今後の取り組み	財政上の問題もあり、大規模修繕は各保育園・幼稚園・小中学校の要望には十分な対応ができていない。計画的な修繕を進めるため、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	A	☆☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R3 ★R2	
事業名	各小学校管理運営費及び小学校施設管理運営費			資料編	15頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2 質の高い学習環境を整備します		
概要	小学校教育及び児童の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、光熱水費、施設の清掃・保守委託、備品購入費等の経費を計上し、小学校施設の適切な管理運営を行う。				
3年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%				
3年度実績等	◇湖西市全小学生2,963人（令和3年5月1日現在） ◇小学校の運営費として計160,893千円（54,301円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、高速インターネット回線を導入やICT支援員を配置を行った。 ◇点検実施率100%				
2年度実績等	◇湖西市全小学生3,037人（令和2年5月1日現在） ◇小学校の運営費として計512,326千円（168,695円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、一人一台タブレットパソコンを3,205台を購入した。				
課題及び今後の取り組み	令和3年度から、一人一台タブレットパソコンの本格運用を開始した。活用が進むようICT支援体制を強化していく必要がある。 令和2年度から、保育園・幼稚園・小学校・中学校の大規模施設修繕については教育施設管理費に事業を移管し、一括で管理している。	評価	↑ 実現度	A	☆
				B	★
				C	B A
				重要度→ ☆R3 ★R2	
事業名	各小学校教育振興費			資料編	16頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2 質の高い学習環境を整備します		
概要	小学校教育の振興を図るため、必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し教育振興の充実を図る。				
3年度目標	購入図書冊数の前年度比100%				
3年度実績等	◇湖西市全小学生2,963人（令和3年5月1日現在） ◇各小学校計で7,456千円（2,516円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で565冊の図書を購入。前年度比72.2%。				
2年度実績等	◇湖西市全小学生3,037人（令和2年5月1日現在） ◇各小学校計で8,729千円（2,874円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇6校で783冊の図書を購入。前年度比105.2%。				
課題及び今後の取り組み	財政上の問題もあり、各小学校の要望には十分な対応ができていない。教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	A	☆☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R3 ★R2	

事業名	教育扶助費（小学校）			資料編	17頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	小学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学困難な児童の保護者・特別支援学級に就学する児童の保護者に対し、必要な学用品・通学用品費等を援助する。				
3年度目標	援助の支給人数161人				
3年度実績等	◇就学援助費補助として49人に2,943千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として120人に4,209千円補助した。				
2年度実績等	◇就学援助費補助として44人に2,316千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として105人に3,718千円補助した。				
課題及び今後の取り組み	新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内小学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ A 重要度→ ☆R3 ★R2
事業名	一般諸経費（小学校部活動費交付金）			資料編	-
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	小学校の部活動を育成し、児童の体力・知力の向上及び学校教育の充実を図るため、部活動に要する経費を補助する。				
3年度目標	部活動を行わなくなったため、補助金の交付なし。目標設定をしない。				
3年度実績等	◇教育活動の見直しにより部活動を行わなくなったため実績なし				
2年度実績等	◇部活動は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 ◇部活動備品等に補助金を交付した。（4校）				
課題及び今後の取り組み	小学校の部活動については、令和3年度以降行わないこととなったため、この事業は廃止としていく。	評価	↑ 実現度	A B C	★ A 重要度→ ☆R3 ★R2
事業名	小学校施設整備費			資料編	17頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します		
概要	小学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。				
3年度目標	工事中における児童の安全確保と学校業務の円滑な進行（%）				
3年度実績等	◇東小学校トイレ改修工事 46,750千円 4月に工事を開始し、8月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇新居小学校体育館外壁・屋根改修事業 45,991千円 10月に工事を開始し、2月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇岡崎小学校北校舎特別支援教室改修工事 4,180千円 3月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
2年度実績等	◇知波田小学校屋上防水改修事業 15,928千円 10月に工事を開始し、1月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇岡崎小学校普通教室空調設備設置工事 825千円 3月に工事を開始し、3月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。 ◇白須賀小学校バリアフリー化等改修工事 4,114千円 1月に工事を開始し、2月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
課題及び今後の取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と教育施設地域拠点構想に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆☆ A 重要度→ ☆R3 ★R2

事業名	各中学校管理運営費及び中学校施設管理運営費			資料編	18頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2 質の高い学習環境を整備します		
概要	中学校生徒の健全な教育環境の維持及び充実を図るため、消耗品、燃料費、光熱水費、施設の清掃・保守委託、備品購入費等の経費を計上し、中学校施設の適切な管理運営を行う。				
3年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%				
3年度実績等	◇湖西市全中学生1,516人（令和3年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計133,812千円（88,266円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、高速インターネット回線を導入やICT支援員を配置を行った。 ◇点検実施率100%				
2年度実績等	◇湖西市全中学生1,547人（令和2年5月1日現在） ◇中学校の運営費として計296,531千円（191,681円/人）を執行した。 ◇GIGAスクール構想の推進に伴い、一人一台タブレットパソコンを1,645台を購入した。				
課題及び今後の取り組み	令和3年度から、一人一台タブレットパソコンの本格運用を開始した。活用が進むようICT支援体制を強化していく必要がある。 令和2年度から、保育園・幼稚園・小学校・中学校の大規模施設修繕については教育施設管理費に事業を移管し、一括で管理している。	評価	↑ 実現度	A B C	☆ ★ A B A 重要度→ ☆R3 ★R2
事業名	各中学校教育振興費			資料編	19頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	2 質の高い学習環境を整備します		
概要	中学校における中等普通教育に必要な教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入し、教育振興の整備充実を図る。				
3年度目標	購入図書冊数の前年度比100%				
3年度実績等	◇湖西市全中学生1,516人（令和3年5月1日現在） ◇各中学校計で10,981千円（7,243円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で771冊の図書を購入。前年度比75.9%。				
2年度実績等	◇湖西市全中学生1,547人（令和2年5月1日現在） ◇各中学校計で10,494千円（6,783円/人）の教材用消耗品、学校図書、教材備品等を購入した。 ◇5校で1,016冊の図書を購入。前年度比110.4%。				
課題及び今後の取り組み	財政上の問題もあり、各中学校の要望には十分な対応ができていない。 教育振興費は、学力向上の基幹であり、今後、予算の確保に努める。	評価	↑ 実現度	A B C	☆ ★ A B A 重要度→ ☆R3 ★R2
事業名	教育扶助費（中学校）			資料編	20頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3 時代に対応した教育行政を推進します		
概要	中学校における教育の円滑な実施を図るため、経済的理由等により就学に必要な学用品・通学用品費等を補助する。				
3年度目標	支給人数75人				
3年度実績等	◇就学援助費補助として35人に3,219千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として41人に2,040千円補助した。				
2年度実績等	◇就学援助費補助として36人に2,551千円補助した。 ◇特別支援教育就学奨励費補助として42人に2,094千円補助した。				
課題及び今後の取り組み	新入学用品費の入学前支給について検討し、平成31年4月から市内中学校に入学予定の児童に対し、新入学用品費の入学前支給を実施した。 時代を反映し増加傾向にあり、また貧困家庭対策の一環として社会的重要性が増しているため、対象費目の拡大、効果的な支給時期等を検討する必要がある。	評価	↑ 実現度	A B C	★ ☆ A B A 重要度→ ☆R3 ★R2

事業名	一般諸経費（中学校部活動費交付金）			資料編	20頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	3	時代に対応した教育行政を推進します	
概要	中学校の部活動を育成し、生徒の体力・知力の向上及び学校教育の充実を図るため、部活動に要する経費を補助する。				
3年度目標	交付金交付のクラブ件数53クラブ				
3年度実績等	◇クラブ数、部員数割として54クラブ、部員数1,479人に計4,167千円を交付した。				
2年度実績等	◇クラブ数、部員数割として54クラブ、部員数1,548人に計2,702千円を交付した。 ◇全国大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。				
課題及び今後の取り組み	選手派遣事業は交通費・宿泊費の1/2以内の交付であり、全額負担ではないので生徒の保護者負担が発生する。	評価	↑ 実現度	A	★☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R3 ★R2	
事業名	中学校施設整備費			資料編	21頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します	
概要	中学校の教育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。				
3年度目標	事業なし				
3年度実績等	事業なし				
2年度実績等	◇白須賀中学校体育館屋上防水改修工事 17,820千円 10月に工事を開始し、2月までの工期であったが、安全・円滑に施工を行い、100%完了した。				
課題及び今後の取り組み	施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行う。 まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充実をめざして施設整備を進める。 公共施設再配置計画と教育施設地域拠点構想に基づき、教育施設の改修等計画を今後検討する。	評価	↑ 実現度	A	
				B	★
				C	B A
				重要度→ ☆R3 ★R2	
事業名	幼稚園施設管理運営費			資料編	21頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	1	安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備します	
概要	幼稚園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設管理を行う。				
3年度目標	保守点検委託等における点検実施率100%				
3年度実績等	◇4園の廃棄物処理を行い、清掃業務、廃棄物の収集運搬及び保守点検等を委託した。 ◇点検実施率100%				
2年度実績等	◇5園の廃棄物処理を行い、清掃業務委託等・廃棄物の収集運搬を委託した。				
課題及び今後の取り組み	令和2年度から、こども園化に伴い新居幼稚園を幼稚園施設管理運営費から公立保育所・こども園施設管理運営費に移管している。 令和3年度から、こども園化に伴い岡崎幼稚園を幼稚園施設管理運営費から公立保育所・こども園施設管理運営費に移管している。 令和2年度から、保育園・幼稚園・小学校・中学校の大規模施設修繕については教育施設管理費に事業を移管し、一括で管理している。	評価	↑ 実現度	A	☆
				B	
				C	B A
				重要度→ ☆R3 ★R2	

事業名	幼稚園施設整備費			資料編	23頁									
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教 育を推進します。	方針	1 安全・安心で学びを支える園・学校施設を整備 します											
概要	幼稚園の保育環境の向上及び充実を図るため、施設整備を行う。													
3年度 目標	事業なし													
3年度 実績等	事業なし													
2年度 実績等	◇岡崎幼稚園こども園化事業耐震改修・増築工事 321,298千円 令和元年度より工事を開始し、令和3年2月の完成に向け施工を行い、100%完了した。													
課題及び 今後の 取り組み	<p>施設整備には多くの予算が必要となるため、計画的な予算確保と執行を行 う。</p> <p>まずは、児童の安心・安全面を優先して事業計画し、よりよい教育環境の充 実をめざして施設整備を進める。</p> <p>公共施設再配置計画と教育施設地域拠点構想に基づき、教育施設の改修等計 画を今後検討する。</p>	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td></td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R3 ★R2</p>	A		★	B			C	B	A	
A		★												
B														
C	B	A												

[学校教育課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和3年度評価		備考
		重要度	実現度	
19	教育指導関係経費（教育指導関係事業）	A	B	
20	学校保健衛生費	A	A	
20	指導資料作成事業費	A	A	
21	研究指定事業費（小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業）	A	B	

事業名	教育指導関係経費（教育指導関係事業）		資料編	8頁			
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	11 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援に努めます				
概要	各小学校・中学校での学校教育の充実を図るため、教育指導に関わる諸事業を推進する。						
令和3年度目標	就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数70回 学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数80回 生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% 外国人児童生徒支援事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% 不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒の出席率 50% 語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,680冊 特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員31人配置 いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施						
令和3年度実績等	◇就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数75回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数30回 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒支援事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 45% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,680冊 ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員31人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施						
令和2年度実績等	◇就学支援事業 学校・幼稚園・保育園への就学相談延べ回数64回 ◇学校教育運営事業 指導主事県教育委員会主催の研修への延べ参加回数32回 ◇生きた英語教育推進事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答える学校の割合100% ◇外国人児童生徒適応指導教室事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答えた学校の割合100% ◇不登校児童生徒適応教室事業 入級児童生徒出席率 50% ◇語らい読書推進事業 巡回図書延べ冊数 4,680冊 ◇ポルトガル語通訳派遣事業 学校教育課事業評価において11校中、A・Bと答えた学校の割合100% ◇特別支援教育推進事業 巡回相談員の小中学校訪問22回 特別支援教育支援員30人配置 ◇いじめ対策連絡協議会事業 連絡協議会 年間2回実施						
課題及び今後の取り組み	令和3年度より白須賀小学校に特別支援学級肢体が開設された。白須賀小学校では特別支援教育支援員を増員をし、きめ細かい指導ができるように対応している。特別支援教育への理解が進み、特別支援学級への入級児童生徒が増加している。子ども一人一人の教育的ニーズに応じた支援をするためには、特別支援教育支援員の専門性を高めるとともに、支援員の増員が必要である。 外国人児童生徒は、増加傾向が続いている。自動翻訳機を活用したり、指導員、通訳員を派遣したりして対応している。どの学校にも、外国人児童生徒が在籍する傾向にあり、対応が難しくなっている。		評価	↑ 実現度	A		
B		★☆					
C	B	A	重要度→ ☆R3 ★R2				

事業名	学校保健衛生費		資料編	11頁														
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	12 社会の急激な変化から派生した今日的な課題に的確に対応します															
概要	学校保健安全法に基づき、児童生徒、園児及び教職員の健康保持増進のため定期健康診断やけが補償等への対応を行う。 また、法令の趣旨に従って、校医の配置、定期健康診断を実施する。																	
令和3年度目標	児童生徒・教職員の受診率 100%																	
令和3年度実績等	◇校医配置 学校内科医33人、学校眼科医11人、学校耳鼻科医11人、学校歯科医21人、学校薬剤師11人 ◇児童生徒定期健診（内科・眼科・耳鼻科・歯科）11校 年1回 就学時健診 小学校6校 ◇薬学講座 小学校6回・中学校5回 ◇教職員健康診断 生活習慣病検診137人、指定年齢検診45人、胸部X線検査137人、ｽﾄﾙｽﾞｲｯｸ50人 ◇役務 市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%																	
令和2年度実績等	◇校医配置 学校内科医33人、学校眼科医11人、学校耳鼻科医11人、学校歯科医21人、学校薬剤師11人 ◇児童生徒定期健診（内科・眼科・耳鼻科・歯科）11校 年1回 就学時健診 小学校6校 ◇薬学講座 小学校6回・中学校5回 ◇教職員健康診断 生活習慣病検診131人、指定年齢検診38人、胸部X線検査128人、ｽﾄﾙｽﾞｲｯｸ51人 ◇役務 市長会・日本スポーツ振興センター共済加入 児童生徒・教職員の受診率 100%																	
課題及び今後の取り組み	法に基づくものであり、適正に実施していることが肝要である。令和3年度も、コロナ禍での就学時健康診断となったため、事前に感染症拡大防止のための確認書を送付し、当日、記入内容を確認してから実施した。定期検診等に関しては、今後も学校保健会、医会と相談しながら、改善できるところは善処しながら進めていく必要がある。		評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>★☆☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="3">重要度→</td> <td>☆☆R3 ★R2</td> </tr> </table>	↑ 実現度	A		★☆☆	B			C	B	A	重要度→			☆☆R3 ★R2
↑ 実現度	A		★☆☆															
	B																	
	C	B	A															
重要度→			☆☆R3 ★R2															
事業名	指導資料作成事業費		資料編	11頁														
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	10 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます															
概要	小学校社会科副読本「わたしたちの湖西」の指導資料作成作業																	
令和3年度目標	指導資料作成事業 副読本の活用率100%																	
令和3年度実績等	◇指導資料作成事業 新副読本での授業開始、指導資料の作成																	
令和2年度実績等	◇指導資料作成事業 令和3年度改訂に向けて編集作業と印刷製本																	
課題及び今後の取り組み	令和3年度より新副読本を使用している。令和3年度は、指導資料の作成をし、各校に配布した。今後は、ワークシートや評価テストの検討、作成を進めていく。令和7年度から使用する副読本を令和5年度から準備していく。取材や編集作業等、作成委員にかかる負担が大きいため、改訂委員会の運営方法、日程の組み方を工夫していく。		評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>★☆☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="3">重要度→</td> <td>☆☆R3 ★R2</td> </tr> </table>	↑ 実現度	A		★☆☆	B			C	B	A	重要度→			☆☆R3 ★R2
↑ 実現度	A		★☆☆															
	B																	
	C	B	A															
重要度→			☆☆R3 ★R2															

事業名	研究指定事業費（小中学校指定「特色ある学校づくり」推進事業）		資料編	12頁										
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	10 夢と信頼と充実感のある学校づくり、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます											
概要	家庭教育の充実を目指す学びの基礎づくりや児童生徒や地域の実態に応じた活動、思い出となる行事など、特色ある学校づくりを推進し、地域、家庭と協力し、子どもの健やかな成長を図る。													
令和3年度目標	学校の授業がわかると答える児童の割合93%、生徒の割合85%													
令和3年度実績等	<p>◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり）</p> <p>◇小中学生の発達段階に合わせた「学びの基礎7つの取組」の改訂 クリアファイルを活用した保護者への啓発（学びの基礎づくり）</p> <p>◇各中学校の計画に基づいて、スキー教室、体験学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造）※コロナ感染症拡大防止のため未実施の学校あり</p> <p>学校の授業がわかると答える児童の割合91.9%、生徒の割合84.2%</p>													
令和2年度実績等	<p>◇外部講師を依頼した授業や体験学習を各小中学校の特色に応じて実施（特色ある学校づくり）</p> <p>◇小中学生の発達段階に合わせた「学びの基礎7つの取組」の改訂 クリアファイルを活用した保護者への啓発（学びの基礎づくり）</p> <p>◇各中学校の計画に基づいて、スキー教室、体験学習等を実施（思い出に残る1学校1行事創造）※コロナ感染症拡大防止のため未実施の学校あり</p> <p>学校教育課事業評価においてA・Bと答えた学校の割合100%</p>													
課題及び今後の取り組み	<p>「特色ある学校づくり」推進事業は、子どもたちに地域のひと・もの・こととの出会いを生み、豊かな体験をすることで、知・徳・体のバランスのとれた人格形成に役立っている。令和3年度もコロナ禍で中止した活動もあったが、子どもたちの豊かな学びを実現するため、感染対策をした上で、各校で工夫して取り組みを進めることができた。今後も、感染対策をした上で、目的やねらいを教職員で共通理解し、各校で特色ある学校づくりを進めていく必要がある。</p>		評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>★☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R3 ★R2</p>	↑ 実現度	A			B		★☆	C	B	A
↑ 実現度	A													
	B		★☆											
	C	B	A											

[幼児教育課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和3年度評価		備 考
		重要度	実現度	
23	公立保育園・こども園管理運営費 及び公立保育所・こども園総務費	A	B	
23	民間保育所等施設型給付費	A	A	
24	民間保育所助成事業費	A	A	
24	幼稚園教育指導関係経費	A	A	
25	公立幼稚園管理運営費及び幼稚園 総務費	A	B	

事業名	公立保育園・こども園管理運営費及び公立保育所・こども園総務費			資料編	2・5頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	4 基本的な生活習慣の定着を通して自立する心を育みます 7 保育環境の充実に努めます		
概要	公立保育園・こども園を適切に管理・運営する。				
令和3年度目標	内部事務のため未設定				
令和3年度実績等	◇公立保育園・こども園の入所園児数(令和3年5月1日現在) 541人 ◇公立保育園・こども園の管理運営費93,748千円及び共通経費115,592千円 ※岡崎幼稚園の経費は、令和3年4月の認定こども園移行に伴い、幼稚園総務費から移管				
令和2年度実績等	◇公立保育園・こども園の入所園児数(令和2年5月1日現在) 407人 ◇公立保育園・こども園の管理運営費47,235千円及び共通経費111,429千円 ※新居幼稚園の経費は、令和2年4月の認定こども園移行に伴い、幼稚園総務費から移管				
課題及び今後の取り組み	令和2年4月に新居幼稚園をこども園化したことに伴い、令和2年度末で内山保育園と新居保育園を閉園した。 令和3年4月に岡崎幼稚園がこども園化したため、安定運営に注力する。 令和4年4月から鷺津保育園の新規入園児の受入れを停止し、令和4年度末で閉園する。	評価	↑ 実現度	A B C	☆☆ A
事業名	民間保育所等施設型給付費			資料編	2頁
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	5 夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます		
概要	民間幼稚園・保育園・こども園の適切な運営に扶助する(法定給付)				
令和3年度目標	民間保育園及びこども園(保育園部)の年間平均入園児数 626人 民間幼稚園及びこども園(幼稚園部)の年間平均入園児数 142人 ※各市内利用定員数				
令和3年度実績等	◇民間保育園及びこども園(保育園部)の年間平均入園児数 639人 ◇市内民間保育園等(8園)と広域入所保育園等(8園)の運営費として、施設型給付費646,134千円 ◇民間こども園(幼稚園部)の年間平均入園児数 162人 ◇市内民間こども園(4園)と広域入所こども園(6園)の運営費として、施設型給付費152,309千円				
令和2年度実績等	◇民間保育園及びこども園(保育園部)の年間平均入園児数 646人 ◇市内民間保育園等(8園)と広域入所保育園等(7園)の運営費として、施設型給付費638,704千円 ◇民間こども園(幼稚園部)の年間平均入園児数 156人 ◇市内民間こども園(4園)と広域入所こども園(4園)の運営費として、施設型給付費130,287千円				
課題及び今後の取り組み	幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が課題である。 令和4年4月に私立保育園2園が新規に開園したこともあり、令和4年4月の待機児童数はゼロであったが、保育需要は依然として高いため、動向を注視する。 市内の民間保育園1園が閉園予定である。	評価	↑ 実現度	A B C	☆☆ A

事業名	民間保育所助成事業費			資料編	4頁														
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	5	夢と信頼と充実感のある園づくり、子どもの主体的な活動支援に取り組みます															
概要	市内民間保育園及びこども園の職員の処遇改善、施設の整備・改善及び保育サービスの充実のために補助する。																		
令和3年度目標	乳幼児保育事業の実施園 6園 保育対策事業実施園 8園 新設・改築等への補助及びそれに係る借入金利子への補助 6園																		
令和3年度実績等	◇乳幼児保育事業の実施園 6園（多様な保育事業 29,970千円） ◇保育対策事業実施園 8園（保育対策事業 41,604千円） ◇新設・改築等への補助及びそれに係る借入金利子への補助 6園 民間保育園等施設整備事業 423,943千円(償還金利子1,477千円、施設整備422,466千円) ◇子育てのための施設等利用等給付 7,954千円(補助実績：15施設、68人)																		
令和2年度実績等	◇乳幼児保育事業の実施園 6園（多様な保育事業 32,333千円） ◇保育対策事業実施園 8園（保育対策事業 44,208千円） ◇新設・改築等への補助及びそれに係る借入金利子への補助 4園 民間保育園等施設整備事業 1,624千円(償還金利子1,624千円、施設整備なし) ◇子育てのための施設等利用等給付 9,093千円(補助実績：16施設、74人)																		
課題及び今後の取り組み	民間保育園等施設整備事業(ハード事業)にかかる助成額は高額となるため、予算の確保が課題である。 待機児童対策・保育サービスの充実には不可欠な助成であること、また、保育士の処遇改善は全国的に重要な課題であることから、国の補助メニュー等を活用して継続していく。			評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">重要度→ ☆R3 ★R2</td> </tr> </table>	↑ 実現度	A		☆☆	B			C	B	A	重要度→ ☆R3 ★R2			
↑ 実現度	A		☆☆																
	B																		
	C	B	A																
重要度→ ☆R3 ★R2																			
事業名	幼稚園教育指導関係経費			資料編	12頁														
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	6	一人ひとりの発達に応じた保育と保護者の支援に努めます															
概要	個に合わせた指導を行い、幼児教育・保育の充実及び向上を図る。																		
令和3年度目標	巡回相談12回、幼児教育相談10回																		
令和3年度実績等	◇巡回相談及び幼児教育相談の回数 22回 ◇幼児ことばの教室事業 2,353千円、幼児ことばの教室へ27人が通級 ◇特別支援教育推進事業 13,750千円、特別支援教育支援員を13人配置 ※幼稚園教育振興事業は、幼稚園総務費へ移管																		
令和2年度実績等	◇巡回相談及び幼児教育相談の回数 22回 ◇幼児ことばの教室事業 2,183千円、幼児ことばの教室へ26人が通級 ◇特別支援教育推進事業 9,966千円、特別支援教育支援員を10人配置 ◇幼稚園教育振興事業 620千円																		
課題及び今後の取り組み	特別支援員の支援スキルの向上及び巡回相談員の確保が課題である。 特別な支援を要する子どもは増加傾向にあり、継続する。			評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>☆☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">重要度→ ☆R3 ★R2</td> </tr> </table>	↑ 実現度	A		☆☆	B			C	B	A	重要度→ ☆R3 ★R2			
↑ 実現度	A		☆☆																
	B																		
	C	B	A																
重要度→ ☆R3 ★R2																			

事業名	公立幼稚園管理運営費及び幼稚園総務費			資料編	21頁														
基本目標	自ら学ぶ力、生きる力を育む幼児・学校教育を推進します。	方針	4 基本的な生活習慣の定着を通して自立する心を育みます 7 保育環境の充実に努めます																
概要	公立幼稚園を適切に管理・運営する。																		
令和3年度目標	幼稚園一時預かり事業 延べ利用数7,000人（子ども・子育て支援事業計画：確保の内容）																		
令和3年度実績等	<p>◇公立幼稚園の園児数(令和3年5月1日現在) 221人</p> <p>◇公立幼稚園の管理運営費17,603千円及び共通経費18,090千円</p> <p>◇幼稚園研究指定事業 新居幼稚園「体を動かして遊ぶ楽しさを感じられる子どもの育成」</p> <p>◇幼稚園一時預かり事業 (開園日)延べ利用数5,822人、(長期休園日)延べ利用数1,035人</p> <p>◇幼稚園親子読書推進事業 121千円</p> <p>◇幼稚園教育振興事業 309千円</p> <p>※幼稚園教育振興事業は、幼稚園教育指導関係経費から移管</p> <p>※岡崎幼稚園の経費は、令和3年4月の認定こども園移行に伴い、保育園・こども園総務費へ移管</p>																		
令和2年度実績等	<p>◇公立幼稚園の園児数(令和2年5月1日現在) 407人</p> <p>◇公立幼稚園の管理運営費26,684千円及び共通経費35,173千円</p> <p>◇幼稚園研究指定事業 新居幼稚園「体を動かして遊ぶ楽しさを感じられる子どもの育成」</p> <p>◇幼稚園一時預かり事業 (開園日)延べ利用数4,423人、(長期休園日)延べ利用数891人</p> <p>◇幼稚園親子読書推進事業 195千円</p> <p>※新居幼稚園の経費は、令和2年4月の認定こども園移行に伴い、保育園・こども園総務費へ移管</p>																		
課題及び今後の取り組み	<p>幼児教育・保育の無償化により、財政的負担の増加が課題である。</p> <p>保育需要が高まる一方で幼稚園への入園者は減少している。</p> <p>園児の減少が著しい新所幼稚園では、令和5年度から新規入園児の受入れを停止し、令和5年度末で閉園する。</p> <p>真愛保育園が令和6年4月に幼保連携型認定こども園へ移行するにあわせて、同地区の白須賀幼稚園の運営について検討する。</p>			評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>★</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="3">重要度→</td> <td>☆R3 ★R2</td> </tr> </table>	↑ 実現度	A		★	B		☆	C	B	A	重要度→			☆R3 ★R2
↑ 実現度	A		★																
	B		☆																
	C	B	A																
重要度→			☆R3 ★R2																

[スポーツ・生涯学習課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和3年度評価		備考
		重要度	実現度	
27	社会教育総務関係経費	A	A	
27	生涯学習推進費	A	B	
28	西部地域センター管理運営費	B	B	
28	青少年健全育成費	A	B	
29	青少年健全育成センター活動費	B	B	
29	北部地区多目的研修施設管理運営費	B	C	
29	南部地区構造改善センター管理運営費	B	C	
30	保健体育総務関係経費 (社会体育振興事業)	B	C	
30	保健体育総務関係経費 (健康づくり事業)	B	C	
31	社会体育施設維持管理費 (湖西運動公園外5施設維持管理)	A	A	
31	社会体育施設維持管理費 (複合運動施設管理運営)	A	B	
32	スポーツ活動推進及び大会運営費 (スポーツ普及推進及び育成事業)	B	C	
32	スポーツ活動推進及び大会運営費 (ジュニアスポーツ育成事業)	B	C	
32	スポーツ活動推進及び大会運営費 (高齢者の健康生きがいつくり事業)	B	C	
33	スポーツ活動推進及び大会運営費 (学校体育施設開放事業)	A	A	
33	スポーツ活動推進及び大会運営費 (静岡県市町対抗駅伝競走大会)	B	A	
33	スポーツ活動推進及び大会運営費 (湖西市駅伝大会)	B	B	
34	スポーツ活動推進及び大会運営費 (室内棒高跳記録会)	B	C	

事業名	社会教育総務関係経費			資料編	23頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	14 家庭教育を支援します 17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します		
概要	社会教育推進のため、家庭教育の充実に向けて、ふたば学級・家庭教育学級・子育て講演会等の充実に努めます。社会教育委員、生涯学習推進協議会委員及び社会教育指導員を置く。				
令和3年度目標	社会教育委員会の開催：3回開催 社会教育指導員設置事業：4人設置				
令和3年度実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催（内2回はコロナ対策により書面開催） ◇生涯学習推進協議会の開催：1回開催（コロナ対策により書面開催） ◇社会教育指導員設置事業：指導員4人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイヤルなどを担当）				
令和2年度実績等	◇社会教育委員会の開催：3回開催（内2回はコロナ対策により書面開催） ◇生涯学習推進協議会の開催：3回開催（内2回はコロナ対策により書面開催） ◇社会教育指導員設置事業：指導員3人設置（家庭教育学級、ふたば学級、ヤングダイヤルなどを担当）				
課題及び今後の取り組み	社会教育の振興をはかるため、高い識見と専門性を持つ者を社会教育指導員として配置する。 湖西市生涯学習推進計画を総合的かつ効果的に推進するために、社会教育委員や生涯学習推進協議会委員より意見を徴収し、施策に反映していく。	評価	↑ 実現度	A B C	★☆ A B A 重要度→ ☆R3 ★R2
事業名	生涯学習推進費			資料編	24頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	14 家庭教育を支援します 15 地域における教育力向上のため、学校、家庭、地域等との連携を図ります 17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します		
概要	わくわく子ども教室・学校支援地域本部事業等を充実させ、地域連携と教育力の向上を図ります。家庭教育、生涯学習の重要性から、各年代層に学習の機会を提供する。				
令和3年度目標	家庭教育サポート事業：講座参加人数 800人 青少年教育推進事業：イベント参加者数 2,000人 高齢者教育の推進事業：参加者数 300人 生涯学習の推進：達人録登録人数 200人 おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数(申請分) 2,000人 わくわく子ども教室推進事業：教室申込者数 250人 学校支援本部事業：支援本部設置数 11校				
令和3年度実績等	◇家庭教育サポート事業：講座参加人数 204人 （ふたば学級、家庭教育学級を実施、教育講演会は新型コロナウイルス感染対策のため中止） ◇青少年教育推進事業：イベント参加者数 355人 （親子体験教室、ものづくり体験事業を実施、科学の体験、コーちゃんフェスタは新型コロナウイルス感染対策のため中止） ◇高齢者教育の推進事業：寿大学参加者数 109人 ◇生涯学習の推進：達人録登録人数 127人、生涯学習講座11講座、子ども講座1講座の企画及び実施 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数（申請分） 90件、2,334人 ◇わくわく子ども教室推進事業：市内6小学校で実施。教室申込者数 166人 ◇学校支援本部事業：学校支援本部を8校設置。（白須賀小、知波田小、東小、新居小、白須賀中、湖西中、鷺津中、新居中）				
令和2年度実績等	◇家庭教育サポート事業：新型コロナウイルス感染対策のため中止 （ふたば学級、家庭教育学級、幼小で教育講演会を計画） ◇青少年教育推進事業：新型コロナウイルス感染対策のため中止 （科学の体験、親子体験教室、コーちゃんフェスタ、ものづくり体験事業を計画） ◇高齢者教育の推進事業：新型コロナウイルス感染対策のため中止 ◇生涯学習の推進：達人録登録人数 138人、生涯学習講座21講座の企画及び実施 ◇おちばの里親水公園管理事業：公園利用者数（申請分） 104件、3,308人 ◇わくわく子ども教室推進事業：市内6小学校で計画。新型コロナウイルス感染対策のため中止 ◇学校支援本部事業：学校支援本部を3校設置。（白須賀小、白須賀中、知波田小）				
課題及び今後の取り組み	ふたば学級や家庭教育学級、放課後子ども教室の参加者を確保するよう、コロナ禍における実施内容等の見直しを検討する。 湖西市生涯学習推進計画に基づき、ライフステージに応じた事業を展開する。 市内全地区での事業展開を継続する。（ふたば学級、家庭教育学級、寿大学など）	評価	↑ 実現度	A B C	★☆ A B A 重要度→ ☆R3 ★R2

事業名		西部地域センター管理運営費		資料編	26頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくりたい	方針	17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境を整備します 18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます 19 安全で安心な施設を管理・運営します		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 西部地域センター等で各種講座を開設します・生涯学習施設・設備等を点検し、適切な管理・運営に努め、利用者の増加を図ります 西部地域センターの施設の維持管理と各種講座、まつりの開催。 				
令和3年度目標	利用者数 30,000人				
令和3年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設管理業務：利用者数 27,514人 ◇生涯学習講座3講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 				
令和2年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設管理業務：利用者数 19,600人 ◇生涯学習講座7講座が開催された。（予算は生涯学習推進費） ◇まつりは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 				
課題及び今後の取り組み	施設の老朽化（昭和60年度建設）により維持管理費が増大しているが、安全で安心して利用できる環境を保つため、修繕・改修等により、施設の適切な維持に努める。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。 利用拡大を周知し、一層の利用者数の増加に努める。	評価	↑ 実現度	A B C	☆ ★ A
				重要度→ ☆R3 ★R2	
事業名		青少年健全育成費		資料編	27頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくりたい	方針	16 青少年健全育成意識を醸成します		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成大会や青少年教育推進事業を通して青少年の健全な育成に努めます 明湖会等青少年健全育成団体と連携し、明るい地域づくりや青少年健全育成の推進を図ります 青少年の健全な育成を図るため、健全育成大会の開催や子ども会等の青少年育成団体を支援する。 				
令和3年度目標	青少年健全育成事業：「家庭の日」作品応募数 800点 成人式開催事業：参加率 85%				
令和3年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◇青少年問題協議会：6月25日開催した。 ◇青少年健全育成事業：11月6日 健全育成大会の開催及び表彰を行った。参加者65人。 ◇家庭の日普及事業：「家庭の日」作品（絵画、標語、詩）を募集した。応募数377点。 優秀作品による啓発品を作成し、啓発活動を実施した。 ◇青少年育成団体支援事業：明湖会、子ども会など団体活動を支援した。 ◇成人式開催事業：1月9日 アメニティプラザで実施し、518人参加。（参加率83.14%） 				
令和2年度実績等	<ul style="list-style-type: none"> ◇青少年問題協議会：6月29日 新型コロナウイルスの影響により書面開催 ◇青少年健全育成事業：新型コロナウイルスの感染防止のため健全育成大会を中止した。 ◇家庭の日普及事業：新型コロナウイルスの感染防止のため中止した。 ◇青少年育成団体支援事業：明湖会の活動を支援した。 ◇成人式開催事業：1月10日 新型コロナウイルスの影響によりウェブ配信で行った。 				
課題及び今後の取り組み	社会全体で青少年を育成しようと機運を高め、事業を継続する。	評価	↑ 実現度	A B C	★ ☆ A
				重要度→ ☆R3 ★R2	

事業名	青少年健全育成センター活動費			資料編	27頁	
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくり ります	方針	16 青少年健全育成意識を醸成します			
概要	明湖会等青少年健全育成団体と連携し、明るい地域づくりや青少年の健全育成の推進を図ります 青少年補導員による補導活動や社会教育指導員による相談活動等の青少年非行防止活動を行う。					
令和3年度 目標	補導実施回数 140回					
令和3年度 実績等	◇街頭補導活動：月1～2回、地区別定期補導 27回 (5～10月・2～3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。) ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 11件					
令和2年度 実績等	◇街頭補導活動：月1～2回、地区別定期補導 48回 (4～6月・2月は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。) ◇ヤングダイヤル電話相談活動：相談件数 7件					
課題及び 今後の 取り組み	コロナ禍における補導活動の実施方法について検討する。 2年ごとに地区で補導員を選出されるが、選出が難航する地区がある。			評価	↑ 実 現 度	A B C 重要度→ ☆R3 ★R2
事業名	北部地区多目的研修施設管理運営費			資料編	32頁	
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくり ります	方針	17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境 を整備します 18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます 19 安全で安心な施設を管理・運営します			
概要	・西部地域センター等で各種講座を開設します ・生涯学習施設・設備等を点検し、適切な管理・運営に努め、利用者の増加を図ります 北部地区多目的研修集会施設の維持管理と各種講座、まつりの開催。					
令和3年度 目標	利用者数 11,000人					
令和3年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者数 6,131人 ◇生涯学習講座2講座と子ども講座1講座が開催された。(予算は生涯学習推進費) ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止					
令和2年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者数 7,842人 ◇生涯学習講座4講座が開催された。(予算は生涯学習推進費) ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止					
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化(昭和56年度建設)により維持管理費が増大しているが、安全 で安心して利用できる環境を保つため、修繕・改修等により、施設の適切な 維持に努める。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。			評価	↑ 実 現 度	A B C 重要度→ ☆R3 ★R2
事業名	南部地区構造改善センター管理運営費			資料編	32頁	
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくり ります	方針	17 さまざまな“学ぶ”活動ができる生涯学習環境 を整備します 18 市民が集い結びあうセンター活動に努めます 19 安全で安心な施設を管理・運営します			
概要	・西部地域センター等で各種講座を開設します ・生涯学習施設・設備等を点検し、適切な管理・運営に努め、利用者の増加を図ります 南部構造改善センターの維持管理と各種講座、まつりの開催。					
令和3年度 目標	利用者数 11,000人					
令和3年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 6,976人 ◇生涯学習講座3講座が開催された。(予算は生涯学習推進費) ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止					
令和2年度 実績等	◇施設の維持管理：利用者総数 8,270人 ◇生涯学習講座7講座が開催された。(予算は生涯学習推進費) ◇まつりは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止					
課題及び 今後の 取り組み	施設の老朽化(平成6年度建設)により維持管理費が増大しているが、安全 で安心して利用できる環境を保つため、修繕・改修等により、施設の適切な維持 に努める。 講座参加人数の増加に努める。 講座の終了者によるサークル化を促進する。			評価	↑ 実 現 度	A B C 重要度→ ☆R3 ★R2

事業名	保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）			資料編	35頁
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します		
概要	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員会を中心として各種スポーツ活動の企画・運営を行い、スポーツの普及を図る。				
令和3年度目標	ニュースポーツ参加人数 500人				
令和3年度実績等	◇ニュースポーツ参加人数 275人				
令和2年度実績等	◇ニュースポーツ参加人数 164人				
課題及び今後の取り組み	<p>ニュースポーツ講習会等の参加者が固定化傾向で、新しい参加者が少なくなってきた。令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、約半数の講習会が中止となったことから参加人数が大幅に減少した。</p> <p>今後も各種スポーツ活動についてスポーツ推進委員で企画検討し、活動の充実に努めるとともに、コロナ禍の現在の状況、さらには現在の状況と同様の状況が起きた場合にいかに関催することができるのか、開催方法等について今後も検討していく。</p>	評価	↑ 実現度	A	
				B	
				C	★☆ B A
				重要度→ ☆R3 ★R2	
事業名	保健体育総務関係経費（健康づくり事業）			資料編	35頁
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します		
概要	ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、スポーツの推進に関する施策の基本を明らかにし、市民の心身の健全な発達と明るい市民生活の形成に寄与することを目的に、湖西市の実情に即した推進計画を策定する。				
令和3年度目標	健康づくり事業として、白須賀ウォーキングコースの設定及び予算付けを行う。				
令和3年度実績等	◇白須賀ウォーキングコースに関し、予算付けすることができなかった。				
令和2年度実績等	◇白須賀ウォーキングコースに関し、予算付けすることができなかった。				
課題及び今後の取り組み	<p>健康づくり事業の一環として、手軽にできる運動がしやすい環境づくりに努める。</p> <p>ウォーキングコースについては、各地域で安心して手軽にできるウォーキングや散歩のモデルコースとして、これまでに既存の鷺津、入出、岡崎に加え、平成27年度の新居以降、白須賀が今も設置されていない状況である。今後は既存のモデルコースを活かし、スポーツ推進委員による白須賀を含めた独自のウォーキングコースを予算を極力抑えた方法で検討していく。</p>	評価	↑ 実現度	A	
				B	
				C	★☆ B A
				重要度→ ☆R3 ★R2	

事業名	社会体育施設維持管理費（湖西運動公園外5施設維持管理）		資料編	36頁										
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	25 スポーツ環境を整備します											
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、湖西運動公園・梶田多目的運動広場・北部地区運動広場・みなと運動公園・新居スポーツ広場公園・勤労者体育センターの利用者が快適かつ安全に競技ができるよう指定管理者による施設の維持管理を行う。													
令和3年度目標	湖西運動公園外5施設年間利用目標：150,000人													
実績等	湖西運動公園等	令和2年度年間利用者数	令和3年度年間利用者数											
	湖西運動公園	46,626人	50,519人											
	梶田多目的運動広場	2,551人	1,854人											
	北部地区運動広場	10,869人	11,441人											
	合計	60,046人	63,814人											
	みなと運動公園	令和2年度年間利用者数	令和3年度年間利用者数											
	野球場	2,495人	3,040人											
	多目的広場	6,971人	8,977人											
	合計	9,466人	12,017人											
	新居スポーツ広場公園	令和2年度年間利用者数	令和3年度年間利用者数											
	体育館	52,239人	55,630人											
	庭球場	2,973人	2,549人											
	弓道場	1,754人	2,149人											
	合計	56,966人	60,328人											
	勤労者体育センター	令和2年度年間利用者数	令和3年度年間利用者数											
	体育室	28,331人	27,262人											
卓球室	4,443人	4,750人												
トレーニング室	1,292人	1,683人												
合計	34,066人	33,695人												
課題及び今後の取り組み	指定管理者の運営努力により、令和3年度の利用者数は令和2年度と比較して増加となったが、コロナ以前の利用者数の水準には至っていない。新型コロナウイルス感染防止及び市民の不安の解消の観点から営業時間の短縮を行った。（令和3年8月18日(水)～令和3年9月30日(木)まで） 令和4年1月から運用開始した公共施設予約システムによる利用者の利便向上と指定管理者との連携による適正な施設管理・運営に努め、利用者数の増加に努めていく。		評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>★ 重要度→ ☆R3 ★R2</p>	↑ 実 現 度	A		☆	B			C	B	A
↑ 実 現 度	A		☆											
	B													
	C	B	A											
事業名	社会体育施設維持管理費（複合運動施設管理運営）		資料編	37頁										
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	25 スポーツ環境を整備します											
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、アメニティプラザの利用者が、快適かつ安全に競技ができるよう指定管理者による施設管理を行う。													
令和3年度目標	アメニティプラザ年間利用者目標：180,000人													
実績等	施設名	令和2年度年間利用者数	令和3年度年間利用者数											
	温水レジャープール	60,925人	72,520人											
	浴室	43,986人	47,113人											
	トレーニングルーム	11,998人	13,489人											
	メインアリーナ	14,424人	20,986人											
	サブアリーナ	8,993人	13,511人											
	スタジオ	12,353人	6,522人											
	合計	152,679人	174,141人											
課題及び今後の取り組み	指定管理者の運営努力により、令和3年度の利用者数は令和2年度と比較して増加となったが、コロナ以前の利用者数の水準には至っていない。新型コロナウイルス感染防止及び市民の不安の解消の観点から営業時間の短縮を行った。（令和3年8月18日(水)～令和3年9月30日(木)まで） 令和4年1月から運用開始した公共施設予約システムによる利用者の利便向上と指定管理者との連携による適正な施設管理・運営に努め、利用者数の増加に努めていく。		評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実 現 度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>★ 重要度→ ☆R3 ★R2</p>	↑ 実 現 度	A			B		☆	C	B	A
↑ 実 現 度	A													
	B		☆											
	C	B	A											

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（スポーツ普及推進及び育成事業）		資料編	38頁									
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します										
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、市民のスポーツ活動を推進し、競技力の向上と健康増進を図るため、スポーツ大会やスポーツ教室の開催など各種事業を行う。												
令和3年度目標	スポーツ教室及びスポーツ大会参加者目標：3,000人												
令和3年度実績等	◇スポーツ教室	ニュースポーツ講習会等、7教室、1講習会 延 90回 総参加者数 1,027人											
	◇各種スポーツ大会	バレーボール、野球等 5大会 総参加者数 748人											
	◇スポーツ少年団派遣事業	4競技 派遣回数5回											
令和2年度実績等	◇スポーツ教室	ニュースポーツ講習会等、7教室、1講習会 延 81回 総参加者数 944人											
	◇各種スポーツ大会	バレーボール、野球、卓球等 6大会 総参加者数 467人											
	◇スポーツ少年団派遣事業	3競技 派遣回数4回											
課題及び今後の取り組み	参加者アンケート、他市の実施状況等を参考に、ニーズにあった種目、大会を実施する。講習会等の認知度向上及びウェブ申込等利用者の利便向上が課題。 令和3年度においても令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、教室等の中止が多かったことから参加人数が大幅に減少した。コロナ禍の現在の状況、さらには現在の状況と同様の状況が起きた場合にいかに開催することができるか、開催方法等について今後も関係団体と連携し検討していく。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>★☆</td><td>A</td></tr> </table> <p>重要度→ ☆R3 ★R2</p>	A			B			C	★☆	A
A													
B													
C	★☆	A											
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（ジュニアスポーツ育成事業）		資料編	38頁									
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します										
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、中学生の競技力向上のため、ジュニアスポーツクラブを育成する。												
令和3年度目標	生徒参加者目標：150人												
令和3年度実績等	◇実施種目	野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上長距離・短距離											
	参加者数	112人											
令和2年度実績等	◇実施種目	野球、サッカー、ソフトテニス、柔道、陸上長距離											
	参加者数	140人											
課題及び今後の取り組み	学校の部活動と連絡・調整を行い、今後も活動を継続する。他の新種目の指導者の発掘及びスポーツ人口減少問題が課題。 コロナ禍の現在の状況、さらには現在の状況と同様の状況が起きた場合にいかに開催することができるか、開催方法等について今後も指導者と連携し検討していく。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td>★</td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>☆</td><td>A</td></tr> </table> <p>重要度→ ☆R3 ★R2</p>	A			B	★		C	☆	A
A													
B	★												
C	☆	A											
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（高齢者の健康生きがいづくり事業）		資料編	41頁									
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します										
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、高齢者の方々が心と体を健康に保つために、スポーツに親しむ場を提供する。												
令和3年度目標	大会参加者目標：1,000人												
令和3年度実績等	◇スポーツ大会開催種目	ペタンク、ペタボード、グランドゴルフ、輪投げ											
	大会回数	年4回	総参加者数	568人									
令和2年度実績等	新型コロナウイルス感染症の影響により全ての大会が中止												
課題及び今後の取り組み	さらなる参加者数の拡大が課題。また、天候に左右されやすい種目は開催時期の変更もしくは回数を減らすことも必要。 令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、教室等の中止が多かったことから参加人数が大幅に減少した。 コロナ禍の現在の状況、さらには現在の状況と同様の状況が起きた場合にいかに開催することができるか、開催方法等について今後も関係団体と連携し検討していく。	評価	↑ 実現度	<table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>★☆</td><td>A</td></tr> </table> <p>重要度→ ☆R3 ★R2</p>	A			B			C	★☆	A
A													
B													
C	★☆	A											

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（学校体育施設開放事業）		資料編	39頁																																		
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	25 スポーツ環境を整備します																																			
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、市内小中学校体育施設を開放することにより、市民がスポーツを通じて交流する場を提供する。																																					
令和3年度目標	学校体育施設利用者目標：80,000人																																					
実績等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> </tr> <tr> <th>延利用回数</th> <th>延利用者数</th> <th>延利用回数</th> <th>延利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小・中学校運動場</td> <td>411回</td> <td>17,141人</td> <td>666回</td> <td>29,148人</td> </tr> <tr> <td>小・中学校体育館</td> <td>1,512回</td> <td>43,532人</td> <td>1,743回</td> <td>50,311人</td> </tr> <tr> <td>小・中学校武道場</td> <td>614回</td> <td>12,338人</td> <td>815回</td> <td>15,091人</td> </tr> <tr> <td>小・中学校クラブハウス</td> <td>8回</td> <td>185人</td> <td>6回</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,545回</td> <td>73,196人</td> <td>3,230回</td> <td>94,602人</td> </tr> </tbody> </table>				施設名	令和2年度		令和3年度		延利用回数	延利用者数	延利用回数	延利用者数	小・中学校運動場	411回	17,141人	666回	29,148人	小・中学校体育館	1,512回	43,532人	1,743回	50,311人	小・中学校武道場	614回	12,338人	815回	15,091人	小・中学校クラブハウス	8回	185人	6回	52人	合計	2,545回	73,196人	3,230回	94,602人
施設名	令和2年度		令和3年度																																			
	延利用回数	延利用者数	延利用回数	延利用者数																																		
小・中学校運動場	411回	17,141人	666回	29,148人																																		
小・中学校体育館	1,512回	43,532人	1,743回	50,311人																																		
小・中学校武道場	614回	12,338人	815回	15,091人																																		
小・中学校クラブハウス	8回	185人	6回	52人																																		
合計	2,545回	73,196人	3,230回	94,602人																																		
課題及び今後の取り組み	令和3年度の利用回数・利用者数は令和2年度と比較して増加となったが、コロナ以前の利用回数・利用者数の水準に至っていない。新型コロナウイルス感染防止及び児童生徒の健康と安全を最優先する観点から営業時間の短縮を行った。（令和3年8月18日(水)～令和3年9月30日(木)まで） 令和4年1月から運用開始した公共施設予約システムやコンビニ決済の導入による利便向上を図り、利用者の増加に努めていく。		評価	<table border="1"> <tr> <td>↑</td> <td>実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R3 ★R2</td> </tr> </table>	↑	実現度	A		☆			B					C	B	★			重要度→ ☆R3 ★R2																
↑	実現度	A		☆																																		
		B																																				
		C	B	★																																		
		重要度→ ☆R3 ★R2																																				
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（静岡県市町対抗駅伝競走大会）		資料編	40頁																																		
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します																																			
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、市町対抗駅伝に出場し、競技力の向上を図る。																																					
令和3年度目標	市の部10位以内入賞をめざす。																																					
令和3年度実績等	◇開催日	12月4日（土）																																				
	◇成績	市の部 10位																																				
令和2年度実績等	◇開催日	12月5日（土）																																				
	◇成績	市の部 10位																																				
課題及び今後の取り組み	優秀な競技者の発掘、競技力の向上に努力する。 小中学生の走力向上に取り組み、近い将来に3位入賞を実現する。		評価	<table border="1"> <tr> <td>↑</td> <td>実現度</td> <td>A</td> <td>★</td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R3 ★R2</td> </tr> </table>	↑	実現度	A	★	☆			B					C	B	A			重要度→ ☆R3 ★R2																
↑	実現度	A	★	☆																																		
		B																																				
		C	B	A																																		
		重要度→ ☆R3 ★R2																																				
事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（湖西市駅伝大会）		資料編	40頁																																		
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します																																			
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、駅伝大会を開催し、競技力の向上を図る。また、ふれあいジョギングを併せて開催し日頃のスポーツ不足を解消し市民のふれあいを深める。令和3年度は、「コーちゃんリレーマラソン」として代替開催した。																																					
令和3年度目標	大会参加チーム目標：40チーム																																					
令和3年度実績等	◇開催日	1月16日（日）																																				
	◇参加数	35チーム 293人																																				
令和2年度実績等	新型コロナウイルス感染症の影響により大会が中止																																					
課題及び今後の取り組み	駅伝大会は、一般道路を使っでの競技になるので、渋滞等の苦情が多いこと、また、事故が起きないように運営することが課題であり、代替として「コーちゃんリレーマラソン」を開催した。参加資格を小学生以上とし、性別、年齢に関係なくチームを組めるため、参加しやすく楽しめる大会となった。 今後は、関係団体と連携のうえ大会継続のための運営方法等を検討していく。		評価	<table border="1"> <tr> <td>↑</td> <td>実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>B</td> <td>☆</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>C</td> <td>★</td> <td>A</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">重要度→ ☆R3 ★R2</td> </tr> </table>	↑	実現度	A					B	☆				C	★	A			重要度→ ☆R3 ★R2																
↑	実現度	A																																				
		B	☆																																			
		C	★	A																																		
		重要度→ ☆R3 ★R2																																				

事業名	スポーツ活動推進及び大会運営費（室内棒高跳記録会）		資料編	-										
基本目標	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ文化を推進します。	方針	24 スポーツ活動を普及・推進します											
概要	豊かなスポーツライフを支える環境づくりを推進するため、近隣の中高生・一般選手の棒高跳競技の強化を目的とし、自己記録及び新記録樹立をめざす場を提供する。													
令和3年度目標	記録会参加者目標：120人													
実績等	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>区分</td> <td>令和2年度 記録会</td> <td>令和3年度 記録会</td> </tr> <tr> <td>大会記録会</td> <td>新型コロナウイルス感染症の影響により中止</td> <td>新型コロナウイルス感染症の影響により中止</td> </tr> </table>				区分	令和2年度 記録会	令和3年度 記録会	大会記録会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止				
区分	令和2年度 記録会	令和3年度 記録会												
大会記録会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止												
課題及び今後の取り組み	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に引き続き中止。</p> <p>今後も静岡西部陸上競技協会が主催者となった記録会を継続するとともに、将来的にはトップジャンパーを招集できる大会となるよう、静岡西部陸上競技協会と連携する。</p> <p>さらには、全国でも数少ない日本陸連公認の室内棒高跳施設を強みに、棒高跳選手を有する大学や企業・クラブチームなどの練習や合宿で施設・用具を活用してもらおうようPRを図る。</p>		評価	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>★☆</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>重要度→ ☆R3 ★R2</p>	↑ 実現度	A			B			C	★☆	A
↑ 実現度	A													
	B													
	C	★☆	A											

[文化観光課 事業評価の概要]

頁	事業名	令和3年度評価		備考
		重要度	実現度	
36	文化振興関係経費	B	C	
36	文化財保護保存費	A	B	
37	白須賀宿歴史拠点施設管理運営費	B	C	
37	新居関所史料館管理運営費	B	B	
37	紀伊国屋資料館管理運営費	B	B	
38	小松楼まちづくり交流館管理運営費	B	B	

事業名	文化振興関係経費			資料編	29頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	21 文化芸術を推進します		
概要	文化芸術の鑑賞機会の提供および市民の文化芸術活動の支援を行う。				
令和3年度目標	市民芸術祭見学者5,000人、ふるさと歌舞伎見学者500人。				
令和3年度実績等	<p>◇芸術文化振興事業：文化の祭典開催1,056人（芸能祭、美術祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、市民文芸第12号発行</p> <p>◇三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会：遠州大会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>				
令和2年度実績等	<p>◇芸術文化振興事業：文化の祭典開催1,058人（芸能祭、美術祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）、市民文芸第11号発行</p> <p>◇三遠南信ふるさと歌舞伎交流大会：遠州大会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためR3に延期</p>				
課題及び今後の取り組み	文化協会をはじめ、各文化団体の高齢化や多様な文化活動が進み会員数が減少しており、若年層の取り込みなどによって会の活性化を図る必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響により文化催事などの開催が難しく、文化活動の機会の提供と市民の活動意欲の減退が懸念される。今後、市民に広く浸透する魅力ある講座など文化協会と連携した事業の展開に努める。	評価	↑ 実現度	A	
				B	
				C	☆☆
				重要度→ ☆☆R3 ★R2	
事業名	文化財保護保存費			資料編	30頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	20 文化財を保存活用します		
概要	指定文化財の保護保存活用に努めるとともに、誰もが資料を利用できる環境の充実を図る。				
令和3年度目標	新居関跡整備委員会の開催1回、指定文化財保護のための補助件数7件、文化財の普及啓発をめざす。				
令和3年度実績等	<p>◇文化財保護審議会：令和3年4月28日開催 浜名湖新居町沖湖底遺跡群出土資料の文化財指定を行う。</p> <p>◇文化財保護保存事業：指定文化財保存管理、公開のために4件の補助を行った。無形民俗文化財2件は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公開を中止、1件は今後催事を中止することとなった。</p> <p>◇市内遺跡発掘調査事業：古見古窯跡群遺跡から出土した遺物整理を実施し、概要報告パノラマを作成した。</p> <p>◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈りを実施し、保存管理に努めた。</p> <p>◇新居関跡保存整備事業：解説板設置工事を実施、委員会1回開催、保存整備事業報告書を刊行した。</p> <p>◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を10月30日に一般公開した。また出前講座を6回開催した。</p>				
令和2年度実績等	<p>◇文化財保護審議会：令和3年2月8日開催 浜名湖新居町沖湖底遺跡群の文化財指定について諮問。</p> <p>◇文化財保護保存事業：指定文化財保存管理、公開のために6件の補助を行った。無形民俗文化財3件は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公開を中止した。</p> <p>◇市内遺跡発掘調査事業：浜名湖西岸土地区画整理事業に伴い発掘調査を実施し現地説明会2回を開催した。</p> <p>◇大知波峠廃寺跡保存整備事業：草刈りを実施し、保存管理に努めた。</p> <p>◇新居関跡保存整備事業：建築設備・外構改修工事を実施し、委員会を1回開催した。</p> <p>◇湖西中学校南校舎「ふるさと学習室」を10月31日に一般公開した。また出前講座を3回開催した。</p>				
課題及び今後の取り組み	コロナ禍により無形民俗文化財の公開が中止され、継承に支障が生じているため、文化財保存活用地域計画の策定を進め、文化財保存団体の育成に努める必要がある。誰もが利用しやすいように、発掘調査出土遺物や民俗資料、古文書史料の整理活用を行う。 民具倉庫の一部が老朽化しており、北部倉庫への収蔵集約を検討中。 新居関跡保存整備は、史跡保存活用計画の策定を行い、確実な保護保存を行う。	評価	↑ 実現度	A	
				B	☆☆
				C	
				重要度→ ☆☆R3 ★R2	

事業名		白須賀宿歴史拠点施設管理運営費		資料編	31頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	20 文化財を保存活用します		
概要	白須賀宿や歴史と文化を広めるとともに、資料の保存と活用を図るため、白須賀宿歴史拠点施設の運営管理と各種事業を行う。				
令和3年度目標	再発見事業などの展開により、年間入館者数3,000人をめざす。				
令和3年度実績等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 2,616人 ◇白須賀宿再発見事業：参加者0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）				
令和2年度実績等	◇白須賀宿歴史拠点施設管理運営：入場者数 2,320人（4/18～6/1臨時休館） ◇白須賀宿再発見事業：参加者0人（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）				
課題及び今後の取り組み	開館から20年が経過しており、展示内容の見直しを行う必要がある。施設の管理や再発見事業を委託している運営協議会の会員が高齢化しており、今後活動を支える人材確保と施設の利活用の検討が必要である。	評価	↑ 実現度	A	
				B	
				C	★☆ A
				重要度→ ☆R3 ★R2	
事業名		新居関所史料館管理運営費		資料編	31頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	20 文化財を保存活用します		
概要	国特別史跡新居関跡の保存に努めるとともに、新居関所に関する歴史資料の保存と活用を図るため、新居関所史料館の運営管理と各種事業を行う。				
令和3年度目標	保存整備事業の成果を利用して、入場者数12,000人をめざす。				
令和3年度実績等	◇新居関所史料館管理：入館者数 12,663人 ◇新居関所史料館運営委員会：令和3年12月16日開催 ◇展示活動：企画展5回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業				
令和2年度実績等	◇新居関所史料館管理：入館者数 10,266人（4/18～6/1臨時休館） ◇新居関所史料館運営委員会：令和2年9月24日開催 ◇展示活動：企画展6回 ◇新居宿史跡案内人の会補助事業				
課題及び今後の取り組み	社会教育施設として、歴史や文化財の理解を深めるイベントの実施や、魅力ある企画展示の開催などによって親しみやすい運営に努め、特に子どもの入館者や学校教育での利用の増加につなげる。	評価	↑ 実現度	A	
				B	☆
				C	★ A
				重要度→ ☆R3 ★R2	
事業名		紀伊国屋資料館管理運営費		資料編	31頁
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	20 文化財を保存活用します		
概要	市指定の旅籠紀伊国屋の保存に努めるとともに、江戸時代の旅籠に関する歴史資料の保存と活用を図るため、紀伊国屋資料館の管理と運営を行う。				
令和3年度目標	新居関所史料館との連携で入館者数7,000人をめざす。				
令和3年度実績等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 8,095人 ◇展示活動：おひなさま展				
令和2年度実績等	◇紀伊国屋資料館管理運営事業：入館者数 6,541人（4/18～6/1臨時休館） ◇展示活動：おひなさま展				
課題及び今後の取り組み	市指定有形文化財としての保存に努めるとともに、地域イベントなどにも協力し活用を図る。新居関所や小松楼まちづくり交流館と連携した事業を展開する。	評価	↑ 実現度	A	
				B	☆
				C	★ A
				重要度→ ☆R3 ★R2	

事業名	小松楼まちづくり交流館管理運営費			資料編	32頁	
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	20 文化財を保存活用します			
概要	国登録文化財の小松楼の保存に努めるとともに、地域振興並びに新居関所周辺の観光振興及び文化振興を図るため、小松楼まちづくり交流館の管理と運営を行う。					
令和3年度目標	周辺施設や地域団体と連携して、入館者数7,000人を目指す。					
令和3年度実績等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 7,121人 ◇活動：地域の茶の間、遊楽舎講座、ギャラリー展示開催					
令和2年度実績等	◇小松楼まちづくり交流館管理運営事業：入館者数 6,617人（4/18～6/1臨時休館） ◇活動：地域の茶の間、遊楽舎講座、ギャラリー展示開催					
課題及び今後の取り組み	新居関所や紀伊国屋資料館と連携し、新居関所周辺で滞在できる事業を展開する。	評価	↑ 実現度	A		
				B	☆	
				C	★	A
				重要度→ ☆R3 ★R2		

[図書館事業評価の概要]

頁	事業名	令和3年度評価		備考
		重要度	実現度	
40	中央図書館管理運営費 (中央図書館運営事業)	A	B	
40	新居図書館運営事業	A	B	
41	図書館活動推進事業	A	A	

事業名		中央図書館管理運営費（中央図書館運営事業）		資料編	33頁									
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	22	情報拠点としての運営の充実に努めます										
概要	情報提供の拠点として、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の拡充と窓口の円滑なサービスを行い、学習活動環境の充実に図る。													
令和3年度目標	1人当たりの貸出冊数 6.2冊													
令和3年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.9冊 ◇入館者数 118,293人 ◇図書貸出数 256,475冊（一般 104,496 児童 124,883 雑誌 14,244 AV 12,852） ◇図書購入状況 図書 4,275冊 雑誌 1,063冊 AV資料 75点 ◇蔵書状況 176,266冊（一般 112,612 児童 55,679 雑誌 4,415 AV 3,560） ◇登録者状況 22,995人													
令和2年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.2冊 ◇入館者数 98,836人（緊急事態宣言発令による臨時休館21日） ◇図書貸出数 224,713冊（一般 93,356 児童 105,741 雑誌 13,438 AV 12,178） ◇図書購入状況 図書 4,607冊 雑誌 1,034冊 AV資料 68点 ◇蔵書状況 176,403冊（一般 112,175 児童 56,303 雑誌 4,443 AV 3,482） ◇登録者状況 22,257人													
課題及び今後の取り組み	電子図書館及び新聞記事データベース閲覧サービスの供用により、利用者拡大及び利便性の向上を図る。 多文化サービス拡大のため外国語資料を充実させる。 学校図書室との連携・支援の充実により児童生徒の読書活動の推進を図る。			評価	↑ 実現度 <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td>☆☆</td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> 重要度→ ☆R3 ★R2	A			B		☆☆	C	B	A
A														
B		☆☆												
C	B	A												
事業名		新居図書館運営事業		資料編	34頁									
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくれます	方針	22	情報拠点としての運営の充実に努めます										
概要	情報提供の拠点として、より多くの市民に利用していただくため、蔵書及び図書館機能の拡充と窓口の円滑なサービスを行い、学習活動環境の充実に図る。													
令和3年度目標	1人当たりの貸出冊数 6.2冊													
令和3年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.9冊 ◇入館者数 69,175人 ◇図書貸出数 114,170冊（一般 45,967 児童 54,575 雑誌 5,588 AV 8,040） ◇図書購入状況 図書 1,790冊 雑誌 646冊 AV資料 55点 ◇蔵書状況 110,175冊（一般 71,493 児童 32,778 雑誌 3,558 AV 2,346）													
令和2年度実績等	◇1人当たりの貸出冊数 5.2冊 ◇入館者数 63,390人（緊急事態宣言発令による臨時休館21日） ◇図書貸出数 103,786冊（一般 41,540 児童 48,824 雑誌 5,554 AV 7,868） ◇図書購入状況 図書 1,741冊 雑誌 623冊 AV資料 63点 ◇蔵書状況 108,952冊（一般 70,852 児童 32,258 雑誌 3,554 AV 2,288）													
課題及び今後の取り組み	電子図書館及び新聞記事データベース閲覧サービスの供用により、利用者の利便性の向上及び利用者拡大を図る。 多文化サービス拡大のため外国語資料を充実させる。 学校図書室との連携・支援を充実させ、児童生徒の読書活動を推進する。			評価	↑ 実現度 <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td>☆☆</td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> 重要度→ ☆R3 ★R2	A			B		☆☆	C	B	A
A														
B		☆☆												
C	B	A												

事業名	図書館活動推進事業		資料編	34頁															
基本目標	生涯にわたり学び、活躍できる環境をつくります	方針	23 読書活動を推進します																
概要	学習活動環境の充実 図書館活動の推進を図るために、図書館ボランティアの自己啓発及び育成とともに、読書普及活動を行う。また、乳幼児期から本に親しんでもらうためブックスタート事業を推進する。																		
令和3年度目標	イベント参加人数 5,000人																		
令和3年度実績等	◇ブックスタート事業（24回開催）	197人	参加者数合計 5,642人																
	◇おはなし会（75回開催）	848人																	
	◇イベント（よみん祭、新春イベント等）	4,597人																	
令和2年度実績等	◇ブックスタート事業（20回開催）	186人	参加者数合計 4,587人																
	◇おはなし会（79回開催）	1,183人																	
	◇イベント（よみん祭、新春イベント等）	3,218人																	
課題及び今後の取り組み	WITHコロナを踏まえ各種イベントについては引き続き注意を要する。第3次子ども読書活動推進計画に基づいた取り組みを進める。ボランティアの確保と育成を引き続き行う。		評価	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">↑ 実現度</td> <td>A</td> <td></td> <td>☆</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>B</td> <td>A</td> <td>★</td> </tr> <tr> <td colspan="3">重要度→</td> <td>☆R3 ★R2</td> </tr> </table>	↑ 実現度	A		☆	B			C	B	A	★	重要度→			☆R3 ★R2
↑ 実現度	A		☆																
	B																		
	C	B	A	★															
重要度→			☆R3 ★R2																

Ⅲ 外部評価委員（学識経験者）の意見

湖西市教育委員会の自己点検・評価に対する学識経験者による知見の活用は、教育に関し学識経験を有する方に依頼した。

外部評価委員の方々のお名前及び主な御意見、御助言は、次のとおりである。

外部評価委員名簿

(50音順 敬称略)

氏 名	所 属 等
井 川 あ い 子	学校評議員代表
穴 水 正 哲	令和4年度PTA連絡協議会
河 合 禎 隆	教育委員経験者
土 屋 み の り	スポーツ推進委員
吉 原 靖 則	学校長経験者

外部評価委員会実施日

- ・ 令和4年10月31日（月）
- ・ 令和4年12月1日（木）

<自己点検・評価報告書全体>

○コロナ禍の影響で計画の変更や活動が制限される中でも各課ともに計画的かつ効果的に予算が使われていると思います。

○自己点検、評価報告書は、事業評価の概要が各課別に評価され重要度・実現度が一覧で考査でき、理解しやすいです。

○家族で、地域で協力して、住みやすく、健康で元気な街、湖西市なるといいなと思います。

<P10 放課後児童健全育成事業費>

○児童数は減っているのに需要が高まっているとのこと。児童にとっての居場所となり、コロナ禍にあっては支援員・補助員の方々の増員が望まれます。

○放課後児童クラブと放課後子ども教室は、目的や管轄が違うということがわかりました。いずれも放課後の事業です。一般のスタッフが児童とかかわるため、安全管理が重要であると感じます。

<P11 豊田佐吉翁記念奨学金事業費>

○基金の運用に関しては、今後も事業が継続できるよう十分に検討して進めていただくことを望みます。

<P12 育英奨学資金貸付事業費>

○経済的に困難な家庭に、「育英奨学資金貸付事業」の制度がしっかりと伝わるよう広く周知するよう望みます。

○家庭からの申請を待つだけでなく、もっと積極的に周知活動を行っていただき、経済的に困難な家庭に教育の場が継続できるよう望みます。

○学力条件等を事前に周知していれば勉学や部活の励みになると思います。

○市外の私立高校へ通学している家庭にも伝わるよう、中学卒業時に周知することもよいと思います。

○一人親の家庭などについては、選考条件の緩和を考えることもよいと思います。

<P12 学校給食推進事業費>

○給食センターとなった場合でも、子供達からのリクエストメニューの日は、継続していただくようお願いします。

○各学校における給食施設は、老朽化が進行しており課題があります。給食センターの整備を令和8年度まで完了するとしていますが、それまでの間も安全でおいしい学校給食が提供できるよう各学校に十分な配慮をお願いします。

<P13 教育施設管理費>

○危険と思われる箇所でも、修繕が間に合っていないとの話を耳にしています。万一の事態を発生させないようにこれからもご尽力をください。

<P13 学校管理運営費>

○GIGAスクール構想の1人1台のタブレットPC購入や高速インターネット回線導入が進み環境整備されよかったと思います。児童生徒にとって有効に活用できるようICT支援体制の一層の強化を望みます。

<P14 一般諸経費（小学校部活動費交付金）>

○部活動が行われなくなったことにより、保護者から「子供がゲームばかりやって身体を動かさない」「働いているので部活動の時間があったかった」「運動の習い事に通うのに親の送迎が必要になり負担が増えた」などの声をよく耳にするようになりました。「勤労者体育館、新居体育館などでの指定管理による子供スポーツ教室が開催されるのはありがたいが、親の送迎なく、子供がそのまま放課後、学校の体育館やグラウンドで、運動するような企画をしてくれるとありがたい」との声もあります。子供の時期の心と体の発達は、大切なことと思いますので、いろんな課題はあると思いますが、関係する機関が連携して身体を動かす機会を増えることを望みます。

○部活動が全て廃止になり交付金もなくなりましたが、財政難で他の事業への補填ではなく、子どもたちの健全な育成のために新たな使い道があればと思います。

<P14・15 教育扶助費>

○支給額について実費分により差があることは分かりました。現在支援の対象となっていないバス利用通学者や中学自転車通学者への支援について対象となるよう要望します。

○経済的に困難な理由で不安を抱く保護者の方々にとって安心して子供さんを入学させることができる大切な支援です。支援を必要とするご家庭や特別支援教育就学奨励費補助の支援を必要とする家庭の増加が見込まれます。更なる支援の充実を望みます。

<P19 教育指導関係経費>

○外国児児童生徒支援事業について、児童生徒の学校への不安等を解消することが大切です。支援員や通訳員などと連携し寄り添う支援をしていただいているとお聞きしました。引き続き保護者の方々にも理解を深めていただく支援をお願いします

○不登校児童生徒適応教室について、「チャレンジ教室」に通う児童生徒さんの出席率が45%とありました。馴染めなく続かないということの説明を受けました。出席率が上がるよう要望します。

○ヤングケアラーの児童生徒さんがいるとのことですが、スクールカウンセラーをはじめ関係機関と連携や、家庭訪問や電話連絡など関係が途切れないよう対応していると説明を受けました。今後も支援をお願いします。

○生きた英語教育推進事業・外国人児童生徒支援事業ともに、小中学校で「大変役立っている」と「役立っている」と答える学校の割合が100%であり大変良いことです。今後も維持していただきたいと思います。

○特別支援教育推進事業について、教員の配置には制限があるので、支援員の更なる増員に尽力していただくよう要望します。

<P20 学校保健衛生費>

○昨今、女子児童・生徒の健診の際に、服の着脱に対して問題提起がなされています。裸による健診は、虐待の痕跡を見つけられるなどメリットもあると聞きますが、恥ずかしがる気持ちもよく分かります。ご説明で現状や子供の人権を守るという視点から男女問わず配慮していくよう検討していくとお聞きしましたので、ぜひ配慮をお願いします。

<P21 研究指定事業費>

○思い出に残る一学校一行事実施ができなかった3校の生徒の方々はコロナ感染症拡大のために残念な思いをされたと思います。密にならず何か考えられるとよいなと思います。

○本年度は、NPO法人の一員として白須賀小地域ふれあい探検で校庭の樹木観察・クラフトを、また湖西市農業振興協議会の一員として、鷺津中・岡崎中校庭での野菜育てのお手伝いをしました。学校の先生も、お忙しい中、児童生徒さん達が普段なかなか経験できないことを企画実施してくださるのはご負担が大きいと思いますが、SDG'sをよく耳にする時代、自然とふれあい・農業などの活動をするにより、何か一つでも心に響くといいなと思っています。岡崎中の校庭の畑では、子供たちに種から野菜を育てさせたい!という先生の熱い想いにより、一年生生徒全員対象で畜産農家の臭気対策などの話をした後で、畑にとんぷん堆肥を鋤き込み土づくりをし、夏野菜10種類、秋冬野菜8種類を育て、できた作物はみんなで分けて家に持ち帰り食すということをされていました。子供さんの生き生きとした姿がとても印象的でした。農業に限らず、特色のある活動で子供さんの学校は楽しい!友達と仲良く活動できてうれしい!このような活動が行われるのは素敵なことだなと感じています。

<P22～ 幼児教育課全体>

○障害を持つ特別支援学校へ就学する予定や支援学級等への就学予定の未就学児を集めて、保育する場や保護者が相談や交流によりリラックスできる場をお願いします。また、閉園となった施設を活用して実施できたらよいと思います。

<P23 民間保育所等施設型給付費>

○幼児教育・保育の無償化により公立と民間の保育料等保護者負担の差が縮まり民間のこども園・保育所等の需要が高まっていますが、市の財政負担や公立幼稚園の閉園も気になります。どちらがよいという訳ではありませんが公立こども園・幼稚園の魅力を維持し更なる充実及び向上を図っていただきたいと思います。

<P25 公立幼稚園管理運営費及び幼稚園総務費>

○幼稚園一時預かり事業は、利用数が増加していて、これからはさらに大切な事業の1つになることと思います。事業の充実を要望します。

○幼稚園一時預かり事業の利用金額について経済的に困難な利用者の使用料の無償化を考えていただくよう要望します。

<P27 生涯学習推進費>

○今はどのようになっているかはわかりませんが、以前に家庭教育学級に参加すると、講座時間外に別の作業があったと聞きました。少しでも用事を減らしたい子育て世代にとっては負担に感じる部分もあったとのこと。今はこのようなことはないとお聞きしましたので良いと思いますが、講座の時間内に完結する内容の方が、参加意欲が高まると思います。

○コロナの影響もあり、スタッフ会議、研修などが思うように開催できなかったと思いますが事故防止・危機管理面から、スタッフへの教育の時間を設けて頂きたいと感じています。

<P28 青少年健全育成費>

○青少年健全育成大会を通して将来に向け夢や希望を持ち成長するであろう青少年育成団体への支援は大切であると思います。

○成人式開催事業は、コロナ禍にあって学校行事等密になる事は中止となる中、開催された事で成人になる方々はその日有意義な時間を共有できたことと思います。これからも継続して開催されることを願います。

○明湖会や子供会の活動は、地域の方と触れ合うとても大切な場であると思いますが、子供会は役員になる方の負担が大きいと耳にします。コロナ禍でいろんな地域の活動が中止となるなど、役員の引継ぎも難しいという声も聞きます。

○各地区の明湖会の行事、イベントは住民同士のふれあいの場であり、なるべく参加して大切にしていきたいと思います。また、コーちゃんフェスタについても、スポーツ推進委員と体育協会もコラボしていますが、競技種目や運営のあり方など、少しでも多くの方に参加していただけるよう、企画立案していきたいと思います。

<P28・28 西部地域センター管理運営費・北部地区多目的研修施設管理運営費・南部地区構造改善センター管理運営費>

○地域センターでの生涯学習講座について、土・日に親子や家族で楽しめる講座があるといいなと感じます。

<P30～ スポーツ・生涯学習課>

○コロナ禍の影響が大きく実施できない事業が多く実現度も低かったが、各事業とも是非継続していただきたいと思います。

○スポーツ活動推進については、市内在住の競技者や市内の企業等に所属する競技者など全国レベルの選手が数多くいます。その方々を紹介するようなイベント、広報活動を充実しスポーツの普及推進、育成を図るよう要望します。

<P30 保健体育総務関係経費（社会体育振興事業）>

○ニュースポーツ講習会は、第4月曜の夜の時間帯のため、開催曜日や時間の改定が必要であると思います。コロナ禍で、募集も湖西市民に限定するなどの制限もあり、活動が思うようにできない状況でした。ターゲットを絞り、開催の日程時間を改定して、それぞれの発達段階に応じた種目を提供していく必要があると感じました。今後、スポーツ推進委員会で、ニュースポーツ講習会の在り方・参加者を増やすよう、検討する必要があると考えています。

<P30 保健体育総務関係経費（健康づくり事業）>

○ウォーキングコースについて、皆が気軽にできるウォーキングは、健康維持にとっても有意義であると思う半面、今設定されているコースは古く、看板も老朽化しています。今年度もコースの見直し、変更などして検討を重ね、健康増進課ともコラボしてウォーキング後に健康講座を実施していますが、朝早くから「決められたコースを歩く！」を目的とした健康ウォークだと、なかなか参加者が増えない実情があります。多くの方が自分の都合のいい時間に、自宅をスタート地点として歩き、ウォーキングコースの看板を見て歩く方はあまりいらっしゃらないかと思えます。例えば、季節に応じてお花見ウォークなど文化観光課さんともコラボして各地区の名所・見どころ・お店などのマップを作製して、スタンプラリーで景品がもらえるなどプラスαの付加価値を付けて、さらに各地区の行事などと合わせて行えると、より楽しく参加者も多くなるのではないかと感じます。簡単にはいかないとおもいますが、親子で、家族で、地域でいろんな世代の方に知ってもらい、楽しんでいただける事業になることを望みます。

<P32 スポーツ活動推進及び大会運営費>

○スポーツ推進委員は継続任命が多いなと感じていましたが、豊富な経験を活かしスポーツ活動の普及にご尽力いただいていると説明をうけわかりました。また、新スポーツの考案や推進を要望します。

○小学校では部活動がなくなり子供たちの体力低下が懸念される昨今、ジュニアスポーツ育成と放課後児童クラブ・放課後預かりと種目を絞って絡め、駅伝等参加選手の育成発掘の早期着手につなげることを要望します。

○どの事業においてもコロナ禍の影響があり厳しい現状が分かります。また、事業を維持・継続する工夫や努力が伝わってきます。コロナ禍が終息した場合を想定し今後も事業の維持・向上を図っていただきたいと思えます。

<P36 文化振興関係経費>

○歴史資料館の企画・行事のお知らせパンフレットを自治会掲示板や個人宅アパート等の掲示板を利用したりスーパーマーケットの掲示板を利用したり、ホームページ・広報等で行事をお知らせする機会を増やすことを要望します。

<P36 文化財保護保存費>

○園や小中学校との連携を進め子どもたちに湖西市の文化や観光の素晴らしさを伝えていただきたいと思います。

○入館者は目標数には達しなかったが前年より増加している。イベント等の工夫が必要と思いました。

<P40 図書館事業>

○図書館の企画・行事のお知らせパンフレットを自治会掲示板や個人宅アパート等の掲示板を利用したりスーパーマーケットの掲示板を利用したり、ホームページ・広報等で行事をお知らせする機会を増やすことを要望します。

○本が好きな我が子たちでも、電子図書館にアクセスしている気配はありません。図書館へ行く交通手段が限られる小中学生には、需要が高いはずですが、存在を知らないようです。また、読書感想文コンクールや学年単位の課題図書について争奪戦が毎年激しいので、電子版の在庫を充実させていただくのも良いかと思います。

○コロナ禍の影響が続く中で今後も感染防止対策を継続し事業を進めていただきたい。また、学校図書室との具体的な連携・支援の充実を期待します。

○生涯にわたり読書は大切です。幼児期からの読書普及事業で目標を上回る参加者数は素晴らしいことです。電子図書館に期待しています。

IV 総合評価

自己点検・評価報告書は、事業評価の概要が、各課別に評価され、また重要度・実現度を一覽で考査でき、理解しやすくなったとの御意見をいただきました。

令和3年度の教育委員会事業において、第2次湖西市教育振興基本計画の基本目標と方針に基づき実施した各事業について、適正に実施されていることを確認いただきました。所管替えにより新たに教育委員会の事業となった放課後児童健全育成事業をはじめ「厳しい財政事情の中、教育行政の課題解決に向けて着実に取り組む姿勢」等を評価していただき、さらなる充実と推進のための多くの御意見、御助言をいただきました。また、昨年度に続き、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてやむを得ず中止とした事業もある中で、開催に向けて可能な方法を工夫し取り組んでいることについても評価をいただきました。

今後も評価で得られた外部の知見とともに、この点検・評価を生かし第2次湖西市教育振興基本計画の基本理念である「未来の湖西を創る“ひと”づくり」にまい進してまいりたいと考えています。また、評価結果を公表することで、教育委員会に関する積極的な情報公開や教育委員会事務に対する説明責任を果たすことに努めてまいりたいと思います。

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和3年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を報告するものである。

令和4年12月

湖西市教育委員会 教育長 渡辺 宜宏